

インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	15011	企業名	認定NPO法人あっちこっち	コース名称	
配属先・実習部署		実施地	神奈川県		
実施期間	8月17日～9月5日	日数・延べ時間	合計 7日間/延べ 42時間		

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

【アートで世の中を楽しく元気に！】をモットーに活動しています。

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月17日(金)	ガイダンス、NPO法人、業務について理解する	NPO法人、そして認定NPO法人とはどのような団体なのか、そしてどのようなシステムで運営されているのかを学びました。
2日目	8月22日(水)	8月25日実施の鎌倉芸術館のワークショップの準備	子どもに芸術を体験してもらうワークショップ運営に必要な芸術面の知識、運営面の知識を資料を読み込むことで学びました。
3日目	8月24日(金)	ワークショップのリハーサル立ち合い	ワークショップのリハーサルで、タイムキーパーとカメラマンを担当し、1つのイベントを時間通りに進めることの難しさを学びました。
4日目	8月25日(土)	ワークショップ本番の運営手伝い	ワークショップ本番では、タイムキーパーとカメラマンをしながら、子ども達が芸術に触れる事によって、何を得られるのかを学ぶことができました。
5日目	8月29日(土)	ワークショップのダイジェスト動画作成、次回イベントの打ち合わせ	Adobeの動画編集ソフトを使って、ワークショップのダイジェスト動画を作成しました。初めて使うソフトの基本操作を大体覚えることができました。
6日目	8月31日(金)	ワークショップのダイジェスト動画作成	動画作成の続きをしました。宣伝用の動画ということで、ワークショップの魅力を最大限に伝えられる動画の作り方とは何かを学びました。
7日目	9月5日(水)	被災地にお菓子を届ける会(イベント)の手伝い、ワークショップのダイジェスト動画作成	被災地にお菓子を届ける会というイベントの手伝いをしました。参加された方々と話すことで、このようなイベントの重要性を学ぶことができました。
8日目	月日( )		
9日目	月日( )		
10日目	月日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

今回の実習を通じて、私が得たものは3つあります。1つ目が、NPO法人という団体と一般企業の差異についての知識です。今まで、NPO法人という団体がどのような理念、システムで運営されているのかよく分かっていなかったのですが、実際にNPO法人の仕事に携わることでそれらの疑問点を解消することが出来ました。また、NPO法人が利益重視ではなく、事業が人々にもたらすものに価値を見出しているという点にとっても感銘を受けました。そして2つ目は、イベント運営の仕組みの知識や、運営に必要なスキルです。実際にイベントの裏方(タイムキーパー・カメラマン)として携わったことにより、イベントがどのような組織、仕組みで動いているのかを直に見て、体験することが出来ました。またタイムキーパーという仕事は、イベントの全体図をきちんと理解していないと対応できない仕事であり、改めて、1つのイベントを正確に運営する難しさを実感しました。また、イベント後、動画作成の仕事により、動画編集のスキルを得ることもできました。最後に3つ目は、教育と芸術によって、子どもの個性を守り、伸ばす仕事の難しさと面白さです。子ども達の突飛な行動に対応する難しさを実感しながらも、子ども達の個性を受け止める環境で子ども達が自由に自己表現をしている姿がとても印象に残り、このような環境を提供できる仕事に憧れを感じました。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

事前準備でやるべきことは、団体の活動理念や具体的な活動を、公式サイトやフェイスブックなどのSNS等で調べ、理解することだと思います。特に実習中、自分が携わることになるイベントに関しては、過去の似たようなイベントの実施内容をよく理解しておく、実習の際に円滑にイベントの運営の仕事を進めることができると思われます。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

今回の実習を経て、教育と芸術が組み合わさることによって、子ども達がどのように自分の個性を表現していくのかを、直に見て、学ぶことが出来ました。そして、子ども達の個性を守り続け、よりそれを開花させることこそが、本来の教育の役目なのかもしれないという気づきを得ることが出来ました。これらの学びを踏まえて、今後私は、学校の教職課程の講義で、子ども達の個性やそれに関わる学問をより深く自分から学んでいきたいと思っています。また今後、模擬授業をする回数が増えていくので、子ども達の個性を守り、伸ばすことができるような授業案、授業運営の方法を考え、実践して、試していきたいと考えています。そのように教育に関する知識を深め、将来教育に関わる仕事を目指す際、具体的にどのような企業、学校を目指していくかを具体的に考えられるように準備していきたいです。

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15021	企業名	株式会社イーオン	コース名称	
配属先・実習部署		実施地	東京都		
実施期間	9月4日～9月8日	日数・延べ時間	合計	5日間/延べ	38時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

「学ぶ」だけでなく、実際に「体験」もできるインターンシップ

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月4日(火)	オリエンテーション。実際に行くスクールでのマナー、電話対応、カウンター対応、イーオンの教務や広告について学ぶ。	翌日から実際にスクールに行って勤務するということで、基本的なマナーやイーオンについての理解を深めました。また接客業ということでお客様にあたる生徒様への気配りや、笑顔、笑声の大切さを学びました。
2日目	9月5日(水)	実際にスクールでの勤務。生徒様とお話をするロビートークをメインに、実際に授業を見学したり電話対応やカウンター対応をしたりする。	積極的に生徒様に話しかけに行きました。実際に話してみることで、なぜイーオンで英会話を始めるようとしたのか、イーオンの良いところなどを聞くことができイーオンについて深く知れました。
3日目	9月6日(木)	実際にスクールでの勤務。ロビートークや授業見学だけでなく、入会を考えている人が最初に経験するインタビューの体験をしました。	インタビュー体験をすることで、生徒様の英語のレベルを見極めるときのさりげない工夫を理解することができました。また引き続きロビートークを生徒様と仲良くなることができました。
4日目	9月7日(金)	実際にスクールでの勤務。様々な授業の見学やスクールブログの作成を行う。	様々な授業があり、一人一人に合った授業を展開することができると感じました。また授業の雰囲気も、生徒様と先生が話しやすい雰囲気であり、勉強がしやすい環境であると考えました。
5日目	9月8日(土)	東京本社でのまとめ。それぞれの勤務報告をした後、チームを作り「生徒数を増やすためには」というテーマでのグループプレゼン。	グループプレゼンでは与えられた時間の中でグループの人と役割分担をして作業を効率化し、納得のいくプレゼンを作成することができ、最優秀賞をいただくことができました。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

今回の実習を通じて人のつながりをより大切にすることができるようになったと感じます。イーオンでは生徒様とのつながり、講師やマネージャー同士のつながりを大切にしますので、あいさつやロビーでの会話(ロビートーク)を重要視されていました。そのことは研修の内容にあいさつやマナー研修があることからわかり、また実際に勤務している社員さんを見ることで感じることもできました。接客業をする上では信頼関係を作ることは重要で、またそのことから私もつながりを大切にしようとして行動することができました。具体的には生徒様とのコミュニケーションや、講師やマネージャーさんとのコミュニケーションを重視しました。会話をすることでお互いに興味を持つことができ信頼関係を気づくことができたり、また話し合うことで問題を解決できたりと多くのメリットがあると感じます。そのことにつながりの大切さがあると考えます。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

事前準備に関しては、初日の研修で多くの大事なことを学べると考えます。次の日から早速勤務が始まるので、ある程度敬語を使うことに慣れておいたり、イーオンの授業制度の知識を深めておいたりすることができると良いと感じます。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

今回の実習を通じて私は人と関わることが好きなことがわかりました。今回は教育という面で多くの方とつながることができたので、これからは他の面でも多くの方とつながっていき興味範囲を広げていきたいと感じます。具体的には今回の実習で経験したマネジメントスタッフとして人の成長を支えるという仕事や、人の生活に直接携わる仕事に就きたいと考えているので、人のつながりを大切に学生生活を過ごしていきたいと考えています。

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15031	企業名	認定NPO法人開発教育協会	コース名称	ALL MEIJI インターンシップ
配属先・実習部署		実施地	東京都		
実施期間	8月1日～8月23日	日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 40 時間		

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】  
 教育の重要性とありがたさ

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月1日(水)	8/4、8/5に行われるd-labというイベントに向けての準備を行いました。最初にd-labについての説明を軽く受け、その後はそのためのパンフレットづくりや備品の準備が主な作業でした。単純作業ではありませんでしたが二人で約300部のパンフレットを作製したのでとても時間がかかってしまいました。備品はイベント当日に部屋ごとで使うものをまとめるという作業でした。	そもそもd-labというイベントについての知識が希薄だったため職員の方の話を聞いて当日までに調べようと思いました。今日の作業としては一日を通して単純な作業でしたが、イベントを運営するためには前持った準備が必要不可欠であると改めて感じました。
2日目	8月4日(土)	今日はd-lab当日でした。d-labは様々なジャンルの専門の方や学校の先生がワークショップや講義を行うイベントなのでその講師の方々が使う備品やプリントを準備したり、来場された方の受付をしたり、ワークショップの内容の記録を取ったりしました。	イベントの事前準備もありましたが、当日の運営にも非常にたくさんの講師の方やボランティアのスタッフが関わっているのだなと実感しました。開発教育協会のスタッフの方から仕事の支持出しをされる前に自分でできることを探し、積極的に作業を行うことが大切だと感じました。
3日目	8月5日(日)	今日も昨日に引き続き d-labというイベント運営のお手伝いをしました。仕事の内容は昨日とほぼ同じだったのでよりスムーズに行えたのではないかと思います。昨日よりもワークショップが長くパソコンで記録を取る作業が多かったです。少しいた時間にワークショップに参加させていただくこともできました。	普段、何かお話を聞きながらパソコンでメモを取ることがあまりないのでパソコンで記録が少し不安でしたが、徐々に慣れてきたということもあり、ちゃんとできたように思います。二日間を通して、イベント運営自体のスタッフの方々の大変さを知ると同時に、世界中の教育に対して同じ意識の人たちが集まるとこんなにも有意義な時間になるのかということにも気づくことができました。
4日目	8月16日(木)	8/4と8/5に行われた d-labの振り返りとその時に来場者の方が回答したアンケートの集計をパソコンで行いました。全部で300枚ほどのアンケートがあり、皆さんのアンケートの評価を合計し、感想などもフォーマットに従って入力をしていきました。アンケートを回答した人の職業、参加回数などの集計も行いました。	普段エクセルを使うことが全くないので、最初は電卓を使って集計を行っていましたが、職員の方がエクセルの使い方を教えてくださり、入力することができました。エクセルのほうが計算ミスも減り効率もよくなるので、とても勉強になりました。また、参加者の感想を読ませていただく中で、参加されていた方々の意識の高さや知識の多さに驚かされ、とてもいい刺激になりました。
5日目	8月23日(木)	先週に引き続き、d-labのアンケート結果の集計と感想の入力を行いました。アンケートの関する仕事は先週とほぼ同じ内容でした。300枚ありましたが何とか終わらせることができました。最後はアンケートの集計が終わったので、d-labとは別の開発教育協会の教育用の教材を1セットごとに袋に入れるという作業のお手伝いをしました。	先週教えていただいたことを生かして、エクセルを使い、アンケート集計を行いました。もっとエクセルを使いこなせるようになったら便利なことも増えそうだなと思いました。教材の袋詰めの作業は画用紙にぴったりのサイズの袋に入れるものだったので最初は少し苦戦しましたが、慣れました。どんな作業もなれることは大切なことだと感じたのと同時に、それでも丁寧さは忘れてはいけななと感じました。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑ 実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)  
 【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

開発教育とは？という疑問から始まったインターンシップでした。事前に開発教育について調べてみてもいまいちわからないままでしたが、実際に行ってみて開発教育協会の職員の方々にお話を聞くうちにだんだんと分かってきました。私にとって最も学びが多かったのは d-labのお手伝いとして参加させていただいた2日間です。この二日間はボランティアとしての参加でしたが、作業をしながらもワークショップや講義が行われている部屋にいたので、講師の方のお話や、参加者のディスカッションの内容を聞くことができました。今まで教育やボランティア活動に興味があり参加しましたが、私がまだまだ知らない日本や世界の教育の現状がたくさんありました。興味はあっても知識としてはまだまだ未熟であるということを知ることができたように思います。普段の開発教育協会の活動も、教育の教材を作成して発行したり、全国各地に赴き講義を行うといったこともなされていて今後も知りたいと思うような活動が多くありました。また職員の方は私が参加する前からこのイベントの準備をされていて、わたしは少ししかお手伝いできませんでしたが、イベントを企画・運営するのは前もった準備が必要なのだなと実感することができました。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

開発教育、開発教育協会について少しでも調べて知っておくことは必要なことだと感じました。インターンシップと聞くと企業に行き活動を行うというイメージを持ちがちですが、開発教育協会はNPO法人なので業務というよりはその団体について知ったり、事務的なお手伝いをしたりということが多いように感じます。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

私が普段大学で教育を受けることができるのは全然当たり前なことではないということが今回のインターンシップを通して分かりました。開発教育協会では、世界中の現状を様々な観点から見るとのことを行っていて、学校で普段勉強していることとも被る内容もあると感じることができました。アフリカや東南アジアを中心とした発展途上国の教育水準はまだ低く、日本に住む私たちが小学生のころから当たり前のように学校に通い、文字の読み書きや計算が当たり前のようになっていることは全然当たり前ではなく、むしろもっと「教育」という場を大切にしなければならぬのだなと感じることができました。また、教育を受ける際に使われる教材や資料は、発信者の方がしっかりと目的を考えて作成されているということも分かり、非常にありがたいことなのだと思いました。教育を受けることができる大学生活の中で、今まで以上に自分の身になるようにしっかりと勉強したいと思います。

農業  
建設業  
製造業  
電気・ガス・熱供給・水道業  
情報通信業  
運輸業・郵便業  
卸売業・小売業  
金融業・保険業  
不動産業・物品賃貸業  
学術研究・専門・技術サービス業  
飲食サービス業  
生活関連サービス業・娯楽業  
教育・学習支援業  
医療福祉  
サービス業  
公務

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15041	企業名	学校法人成蹊学園	コース名称	
配属先 実習部署				実施地	東京都
実施期間	8月30日	～	9月5日	日数・ 延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 40 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

就活の心構え

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月30日(木)	成蹊大学の組織について、どのような事務組織があるか。企画運営部の業務について。	面接でのマナーや、言葉遣いや姿勢など。
2日目	8月31日(金)	成蹊中高事務室の業務について。校舎見学。各大学のパソコンルームについて調査し、発表。	調べたことのまとめ方。発表の仕方など。
3日目	9月3日(月)	国際課の業務について。留学生の人数を増やすための取り組みをグループで話し合い発表。	グループワークでの意見のまとめ方。役割分担などについて。
4日目	9月4日(火)	図書館業務について。大学図書館にライトノベルを置くべきか否かグループで話し合って発表。	人によって価値観が違うところでの妥協案を考える方法、相手側の説得の仕方。
5日目	9月5日(水)	入試センターの業務について。先輩職員との質疑応答。入試人数を増やすための取り組みをグループで話し合い発表。	同業者がどのような取り組みをしているかの調査方法や、取り入れ方。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

1 実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

就活に対する心構えができてきた。今回のインターンでは業務の内容や、様々な成蹊大学の説明を受けることができ、大学事務に関する仕事への知識が深まった。それだけでなく、面接のマナーや言葉遣い、姿勢などを模擬面接を通して学ぶことができ、これからの就活に役に立つような技術的な面での指導を受けることができた。技術的なことは一日で身に着けることは難しいので、自分に足りないところが分かったことはとてもよかったと思う。グループワークでは他の大学の人と行うことは新鮮で価値観が広がり、別の視点からも物事を見ることができるようになった。その他にも今年から働き始めた職員さんから話を聞くことができ、成蹊大学に関すること以外でも親身になって伝えていただけた。それによってこれらの就職活動へ向けて何をすべきか、どのような心構えをしていくべきかがインターンを行う前より明確にすることができた。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

特別必要ない。しいて言えば自分の大学の施設などイベント行事等のようなものがあるか知っているのとグループワークに取り組みやすい。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

グループワークや、プレゼン発表など、今回のインターンシップで授業とは違った緊張感の中で行うことができた。これらはなれの部分がとても大きいと感じたので、授業でも緊張感をもって積極的に取り組んでいきたい。今回のインターンシップでは、様々な知見を得ることができとても楽しく実習を行うことができた、堅苦しい印象を持っていた就職活動へのイメージが変わり、様々な職種の話聞きに行ってみたいと思う。一つの職種に絞ることなく今のところは広く可能性を持っていきたい。

# インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	15051	企業名	公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団	コース名称	
配属先・実習部署	総務課、広報課			実施地	東京都
実施期間	8月1日	～	8月20日	日数・延べ時間	合計 8 日間/ 延べ 56 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

子供とスポーツとマスコミ

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月1日(水)	水辺の安全に関する講習 記事作成、写真撮影のポイントに関する講習 ひとり親家庭体験会 事前打ち合わせ	将来どのような仕事をしたいかと聞かれたときに、ハッキリと答えられなかった。更なる自己分析と業界研究が必要だし、そのいい機会にしたいと感じた。
2日目	8月2日(木)	ひとり親家庭を対象にしたセミナー、SUP体験会における参加者誘導、写真撮影、インタビュー	やるべき仕事不明確な時間が多かった。そのような状況でも、自分が手伝えることは何かを考え、すぐに実行することが大切だと思った。
3日目	8月3日(金)	ひとり親家庭体験会ブログ、Facebook作成 東京湾海洋体験アカデミー事前打ち合わせ	この日は、記事作成がメインだった。一つ一つの言葉使いや、表現を慎重に選ばなければならないメディア活動の苦労を知った。
4日目	8月6日(月)	東京湾海洋体験アカデミー 水中ロボット制作補助 配膳補助	仕事をするうえで、若いうちは出来る事が少ししかない。でも、できることを一生懸命やる事が大切であると感じた。
5日目	8月7日(火)	東京湾海洋体験アカデミー マリンスポーツ及び海レクリエーション 水中ロボット操作プログラム	海という命に係わる場所で、ふざけたり、指導者の言うことを聞かない子に対して、しっかり注意していた。子供を預かるうえで、真剣に子供を守っていた。
6日目	8月8日(水)	東京湾海洋体験アカデミー記事作成 マスコミ訪問 全国ジュニア水泳競技大会事前打ち合わせ	貴財団は打ち合わせを入念に行う。事前の準備をしっかり行い、少しでも良い仕事を行おうとする姿勢は勉強になった。
7日目	8月18日(土)	全国ジュニア水泳競技大会	初めての現場で右も左も分からなかったが、自分から進んでできることをやると、信頼が得られるが、逆に、分からないからと言って何もしないと仕事を頂けないことが分かった。
8日目	8月20日(月)	成果発表会 企画書意見出し	財団の方の企画書に対して、大学生目線で、意見を言わせてもらった。自分が気づいたことを、他人に指摘するのは難しいと感じた。
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

※実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

## 実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

今回の実習で一番身についたと感じる事は、周りの状況を見て、指示されなくてもやるべきことを把握し、実行する能力である。責任者やベテランでも仕事が忙しいと、指示が出せないものである。そんな状況でも他の人の仕事を見ながら、すべき仕事を瞬時に見つける観察力と、実行する能力は大切だと思う。

また、インターン生や就職直後は、当然だが出来る仕事は限られている。それでも、自分の出来る事を精一杯やると信頼度が上がり、新しい仕事を任されるのだと思う。今回の実習を通じて、その能力が必要だと認識し、少し出来るようになったと思う。

今回の実習では、ブログや記事を書く機会が多かった。現場やイベントの様子を伝える文章力が上がったと感じる。後で振り返りをして、文章を書くことになっていたので、必然的に職員の方の仕事に関する熱意や、イベント参加者のニーズが何なのかを考えながら、観察していた。よって、仕事の分析力も少しは身についたと思う。

## 実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

私は実習にあたって2つの準備が必要であると感じた。

いきなりオフィスや営業先に向かう実習だったため、挨拶やお辞儀の仕方、座り方、話の聞き方などのビジネスマナーの知識は不可欠だった。オール明治インターンシップの丁寧な事前研修のおかげで、褒められたものではなかったにしろ、最低限は出来たと思う。

現場での仕事に関する事前の予習が不可欠だった。職員の方から説明はしていただけるが、資料を見ておかないと、何もできなかったと思う。

## 今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

今回の実習を経て、社会人が仕事をする雰囲気や心構え、常識等を肌で感じ、知ることができました。ただ、まだ一社しか行っていないので、同業他社との違いや、業界ごとの仕事の違いを知ることは出来ていません。したがって、様々な業界のインターンシップに行き、自分に合う仕事を発見できればと思います。それに必要な業界研究や自己分析も並行して行います。また、社会人は自分の仕事に必要な知識が多く、常に勉強していると感じました。今から新聞を読んだり、筆記テストの対策をするだけでなく、中国語検定などの資格取得を目指すことで、インプットの習慣を身につけておきたいと思っています。

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15051	企業名	公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団	コース名称	
配属先 実習部署		実施地		日数・ 延べ時間	合計 8 日間/ 延べ 56 時間
実施期間	8 月 1 日 ~ 8 月 24 日				

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

強みを見つけよう

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月1日(水)	オリエンテーション	広報用のブログの記事作成において、必要なことを教えてくださいました。具体的には、インタビューで気をつけること、イベント当日までの準備や写真の撮り方を学びました。
2日目	8月2日(木)	ひとり親の親子を対象としたSAPとカヌー体験補助	受付を担当しましたが、財団や本日のイベントについてもっと調べておくべきだったと思いました。疑問に思っていたことを聞いておくことの大切さを実感しました。
3日目	8月3日(金)	体調不良のため、欠席	
4日目	8月6日(月)	小学校4年生から中学校3年生に向けての水中ロボット制作イベント補助	子どもたちが来る前に、机やイス、材料の準備を行ったが、準備を大人たちがしてくれていたことを考えたことなかったと思いました。イベント補助で今まで見えていなかったことが見えました。また、叱るということの難しさを感じました。
5日目	8月7日(火)	小学校4年生から中学校3年生に向けての水中ロボット制作イベント補助	本日は活動場所が海やプールということもあり、財団の方が厳しく注意をする場面が多く、自身の甘さを痛感しました。命を預かっていますので、厳しくしなければならぬ時があることが分かりました。子どもたちと接する難しさを感じました。
6日目	8月8日(水)	記事作成とプレスリリース同行	伝えたいことを言葉にするの難しさを感じました。また、プレスリリースの営業に同行させていただき、コミュニケーション能力の大切さをもっと体感しました。コミュニケーションにはどんな話題にも対応できる幅広い知識が必要だと学びました。社外人のすごさを目の当たりにし、自身に不足しているもの一つを見つけることができました。
7日目	8月18日(土)	水泳大会の計時係	任された仕事を行うことができたと思いますが、インターンシップでやることではないように思いました。子どもたちの礼儀正しさを近くで見ることができて、スポーツと健全な青少年の育成に関係がないとは言えないと思いました。
8日目	8月24日(日)	振り返り	体調不良に伴い、日程を変更していただき、最後に振り廻ることができました。体調が悪かったとはいえ、きちんとご連絡できなかったことを申し訳なく思うと同時に、働くということは学生の活動とは異なることであることを痛感しました。
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」~「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「~ができるようになった。」「~を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

実習を通じて、働くことに対するイメージが変わったように思います。仕事に関する知識が乏しく、営業と事務しか想像することしかできませんでした。しかしながら、実習では、事務所を離れた現場で行われることもあり、仕事の形態や内容はさまざまであることが分かりました。したがって、教育関連の仕事に就きたいという漠然とした考えでは不十分であり、明確に何がやりたいのか考えていかなければならないと思いました。また、実習前より、将来何をしたいのか、少しだけ見えたように思います。水中ロボット制作の実習では、2日間子どもたちと過ごしましたが、たった2日という短い期間でしたが、子どもたちの成長を見ることができ、それを見て、子どもたちの成長を身近見られる仕事が見たいと思えました。叱ることやその子にあった接し方を見つけることは難しいと感じましたが、これからできるようにになりたいと思いました。今回の実習で一番印象に残ったのは、青少年育成の大使に酒井法子さんを起用した理由について、財団職員の方とお話していた時に、一度失敗して、やり直す機会が与えられない社会は悲しいとおっしゃっていたことです。実習に参加して、マリンスポーツには興味がないことに気づいてしまいましたが、このように素敵な考え方をする方々の活動を知ることができたことが一番の成果だと思います。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

実習を経て、もっともっと勉強をしたいと思えました。知識や経験が足りないことに気づきましたので、一回一回の授業を大切にすること、そして読書をするところから始めたいと思います。また、応援団の活動は無駄ばかりでないことに実習を通じて気づきましたので、勉強以外の活動にも集中して取り組んで行きたいと思えます。

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15061	企業名	三幸グループ(学校法人三幸学園・日本教育クリエイト)	コース名称	5DAYコース 新しい学校を作ろう
配属先・実習部署		実施地	東京都		
実施期間	8月27日～9月3日			日数・延べ時間	合計 5日間/延べ 30時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

専門学校をつくる

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月27日(月)	オリエンテーション、グループ目標と個人目標の設定、新しい専門学校の企画	三幸グループの概要について学んだ。グループ目標と個人目標を決め、グループで共有した。社会問題を解消する専門学校の企画を行った。
2日目	8月28日(火)	三幸学園の仕事の理解、グループワーク	教務・広報・生徒の就職を一人の職員が行うことが分かった。また、その内容について学んだ。専門学校の開校目的、概要、環境分析、事業プランを考えた。
3日目	8月30日(木)	グループワーク、中間プレゼンテーション	事業計画を進めた。他グループの発表から、プレゼンでの表現の仕方や様々な意見を得た。
4日目	8月31日(金)	グループワーク、内定者からのフィードバック	事業計画の修正、収支計画や営業戦略等を決め、事業計画書を提出した。時間がタイトな中締め切りまでに終わらせる大切さを学んだ。
5日目	9月3日(月)	グループワーク、最終プレゼンテーション、投票、結果発表、インターンシップの振り返り	企画運営する力やプレゼン力が上がった。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

【実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

事業計画の立て方、利益の出し方などを具体的に理解することができ、学校の企画運営についての知識をつけることができました。入試制度の変化や教育の質を求められている時代であることなど、教育の背景を確認し、教育業界や教育ビジネスについての理解をかなり深めることもできました。専門学校だからこそできることがあると知り、学校の種類とその違いや強みについて理解できました。ゼロから考え、企画立案していくプログラムであったので、自ら考え行動する力が身に付きました。学校をゼロから作るには、目的やコンセプト、誰をターゲットとするか、環境分析、具体的なカリキュラム、具体的な営業戦略、収支計画、数年先まで見据えた計画など、学校内のことから学校を外に伝えること、さらには将来のことなど本当に多くのことを調べ、分析し、考案しなければならぬことがよく分かりました。なので、データを整理し考え、提案する力が上がりました。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

ニュースや記事を読んで、最近の社会問題にはどのようなものがあるのかを把握しておくと思いいます。例えば女性の社会進出や保育士の人数の減少など、多くの社会問題を把握しておく、その問題を解消するためにどんなことをすればいいのかが見え、求められる人材や専門学校が定まると思っています。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

今回のインターンシップで得たプレゼンテーション力を、ゼミナールやボランティア活動などの発表の機会に生かし、さらに向上させていきたいと思ひます。また、話し合いの場に限らず、普段の生活の中で、積極的に意見を出したり、自分に何が出来るかを常に考えて行動していきたいと思ひます。私自身、中学校又は高等学校の教員を志望しており、あまり考えたことのない専門学校について詳しく知れたことはとてもためになったので、今後専門学校についてさらなる情報を積み重ね、教員になった際には、それらを生徒に少しでも還元できるようにしていきたいと思ひます。締め切りを守ったり挨拶をすることは、今後も徹底していきたいと思ひます。

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15016	企業名	三幸グループ	コース名称	
配属先・実習部署		実施地	東京都		
実施期間	8月27日～9月3日			日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 30 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

グループで協力して、日本の困難を希望に変える学校づくり

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月27日(月)	ガイダンス、地図完成ゲーム、PDCAサイクル表作成、三幸学園について・教育業界について「学校をつくる」についての説明、「学校をつくる」：開校動機と概要の作成	社員の方の説明を聞き、主にグループワークを行いました。今日の内容の中では、三幸学園のモットーである「世の中の困難を希望に変える」に感銘を受けました。また、グループ、個人での本インターンの目標を作成し、明日からの自分の行動を考える機会となりました。
2日目	8月28日(火)	学校部門の仕事についての説明(教育サービス・集客方法について・就職キャリア活動について)、「学校をつくる」：環境分析と具体的事業プラン	実際の学校経営の内側を学び、そこからグループで話し合いを行いました。昨日より積極的に協力してグループワークに参加できたと思います。
3日目	8月30日(木)	プレゼン資料作成のコツとプレゼンのコツの説明、「学校をつくる」：中間発表に向けて、中間発表	中間発表を行いました。内容の詰め方も甘かったし、自分の話し方も早口であまりいいものとは言えませんでした。また、グループの役割分担がうまくいってない気がするので私がリーダーなわけではないけど、もう少し積極的にまとめていきたいと思っています。
4日目	8月31日(金)	「学校をつくる」：発表に向けたグループワーク、内定者からのフィードバック	最終発表に向けて進めました。自分は論理的に進めてるつもりでも、相手にはなかなか伝わらないのでつらかったです。でも周りに助けられて協力できる班になってきたかなと思います。
5日目	9月3日(月)	「学校をつくる」：最終発表	発表では最下位でした。やはりみんなが納得して、協力してつくったものでないと発表はうまくいかないのだと学びました。ですが、たくさんの人に助けられて、あの発表の場にきちんと立って話せてよかったです。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

この五日間を通じて私は人と意見交換ができるようになりました。私は人と、特に初対面の人と話すことが苦手です。自分に自信がないため、「こんなことを言ったら嫌われてしまうんじゃないか」と思ってしまい声を上げることができません。ですが、今回のインターンでは意識的に発言できたと思います。もちろん自分自身も頑張りましたが、何より周りのグループのメンバーが私の話を一生懸命聞いてくれて、話してもいい雰囲気を作ってくれたことが助けてくれたと思います。話し合いの際は、私のわかりにくい説明もきちんと聞いてくれるので、意見を言うことができました。また、発表をする度胸も少しついたと思います。インターンの最後にグループの一人一人からメッセージをもらったのですが、そこで「発表の声聞き取りやすかった」と書いてもらえてとてもうれしかったです。その意見の中には「毎日がつらかったけど本間さんに癒されてた」という意見もあり、私が誰かの支えになってると思うと少し自分に自信が持てました。これから先は今回得たこと、気づいたことを自信にして、苦手なことをさらに克服していきたいです。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

実習自体とても丁寧でしたが、やはり一度話してもらっただけでは理解がたりないのできちんと自分の行く会社については理解を深めていくべきだと思います。そうすることによって、ワークショップにも取り組みやすくなり話も聞きやすくなるのではと思います。また、その会社の業界・競合企業なども調べておくとよいと思います。持ち物としては、インターン用のノートは絶対に必要です。ルーズリーフだとバラバラになってしまうし、あまり小さいと書きづらいので、持ち歩きやすいレベルで大きめのノートを準備すべきだと思います。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

私のゼミでは先生の問いに班ごとに協力して答えるという、今回のインターンと非常に似た形をとっています。そのゼミでは私は学力を含め自分に自信がないので、あまり発言はしません。しかし今回のインターンを通して、自分の発言にも力があり、班のメンバーとしてがんばることが大切なのだ実感しました。今回は班でうまく働きかけることができず失敗だったと思っていますが、話さないで黙る失敗より話して失敗する方が有益であると感じました。なので今後のゼミ活動では、発言をして班員ときちんとコミュニケーションをとっていききたいと思います。私には明確に的を得た発言をしたり、周りを引っ張っていくスキルはありません。しかし、私が発言することによって周りの発言を促す雰囲気をつくることができると思うのです。そして、ゼミだけでなくサークルの練習や会議、ゼミ以外の授業においても発言することを意識していきたいです。



インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15061	企業名	三幸グループ(学校法人三幸学園・日本教育クリエイト)	コース名称	5DAYコース 新しい学校をつくろう
配属先 実習部署	営業、企画・マーケティング、広報・宣伝			実施地	東京都
実施期間	8月27日	～	9月3日	日数・ 延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 30 時間

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】  
世の中の困難を希望に変える、新しい専門学校を企画しよう

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月27日(月)	業界理解、ワークの進め方、5日間の目標決め	今回のプレゼンテーションの目的は、1位に選ばれる専門学校を提案することでした。結果を出すために、チーム目標とそれにそった具体的な行動を決め、業務を継続的に改善していく手法であるPDCAサイクルを学びました。
2日目	8月28日(火)	企業理解、広報や営業の仕事を理解する	三幸グループの強みや営業戦略を理解したうえで、専門学校の新規事業計画書を作成し始めました。開校する目的・動機決めに多くの時間を割かれ、事業を計画するうえで一番重要な部分だと学びました。
3日目	8月30日(木)	中間プレゼンテーション	具体的事業プランを作成するにあたり、個人の下調べはもちろん、他チームのご協力をいただいたうえで、アンケートを実施しました。生の声を取り入れることで、より興味の引くプレゼンテーションが完成することを学びました。
4日目	8月31日(金)	プレゼンテーション講座、中間プレゼンテーションの振り返り	前日の中間プレゼンテーションの動画をみて、話し方やパワーポイントの見やすさなど発表方法のフィードバックをしていただきました。また、中間プレゼンテーション時に、他チームから指摘していただいた事業計画書の部分を改訂しました。
5日目	9月3日(月)	最終プレゼンテーション、目標の振り返り	プレゼンテーションの順位が発表されました。数字をつけることにより、教育をビジネスとして提供する三幸グループの事業方針を理解することができました。また、PDCAができていたかを振り返ることにより、自らの問題点を見つけることができ
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)  
【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

実習に参加する前の目的の一つであった教育業界について理解することができました。そして、今まで、複数人でプレゼンテーションを行う機会があまりなく、プレゼンテーションに対するフィードバックをいただいたのも初めてでした。プレゼンテーションスキルを身につけることができ、最終プレゼンテーションでは、自分なりに納得のいく形で終えることができました。また、このワークを効率的に進めるためにはどうすべきかを考えました。昼食の時間を利用し、日常生活についてフランクに話す機会を設けました。すると、2日目以降、私の詰めの甘かった部分を指摘し、私が想定しなかった意見を出してくれるようになりました。同い年の初めて会った学生がこのように様々なことを考え、批判的に意見を述べてくれることに今度は自分が刺激を受けました。グループワークを進めるにあたり、お互いを理解すること・発言しやすい環境を整えることの重要性に気づくことができました。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

専門学校を提案するにあたり、その学校に通うターゲットがどれだけいるか消費者ニーズの裏付けと政治的経済的ニーズの裏付けを明確化・競合他社の調査をし、新規事業計画書にまとめる必要がありました。そのため、実習時間外でも、家で調べ物をしました。また、黒字化できる学校経営を実現するために、三幸グループの営業戦略や強みを理解することも事前準備として取り組みました。

今回の実習を終て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

グループワークでは、全員が力を出し切ることをグループの目標としていましたが、一部の人の意見ばかりに偏ってしまうことが多く、今回掲げたグループ目標を成し遂げることが実習中の課題の中で一番難しいものだと感じました。そうならないためには、役割分担はもちろん批判的思考を持ち自らも積極的に参加しつつ、少数意見も尊重し、全員が発言しやすい環境をつくる必要だと学びました。また、熱意のある発表の仕方や関心の持てるパワーポイントの作成方などプレゼンテーションスキルも学ぶことができました。今後は、大学内のゼミやアルバイトの会議で、今回の実習で学んだことを活かしていきたいです。

農業  
建設業  
製造業  
電気・ガス・熱供給・水道業  
情報通信業  
運輸業・郵便業  
卸売業・小売業  
金融業・保険業  
不動産業、物品賃貸業  
学術研究・専門・技術サービス業  
飲食サービス業  
宿泊業  
生活関連サービス業  
娯楽業  
教育・学習支援業  
医療・福祉  
サービス業  
公務

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15071	企業名	NPOじぶん未来クラブ	コース名称	
配属先 ・実習部署				実施地	東京都
実施期間	8月4日～9月5日			日数・ 延べ時間	合計 6 日間/ 延べ 40 時間

キャッチコピー 【今回の実習を一書で示すキャッチコピーを記入してください。】  
プレゼン力を身に付ける!!

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対するの行動・学んだこと
1日目	8月4日(土)	顔合わせ。ペアプレゼンリハーサル、副代表ヘインタビュー	高校生向けのキャリアプログラム「シゴトの子カラ」で行うペアプレゼンの練習を軽く行った。人前で話すことの難しさを改めて感じた。
2日目	8月6日(月)	共にプログラムを行う社会人と顔合わせ。社会人のプレゼンへのフィードバック。自身のペアプレゼンの司会リハーサル。	社会人の方々のプレゼンに対して「もっとこうした方が良い」という意見を言う際に、どうすれば失礼なく伝えられるのかを考え、学んだ。
3日目	8月8日(水)	ペアプレゼンリハーサル	先輩方や企業の方からアドバイスを沢山もらい、どうしたら高校生が楽しくプログラムに参加してくれるか考え何度も練習すると共に、その難しさを学んだ。
4日目	8月17日(金)	ペアプレゼンリハーサル	前回の反省点を踏まえ、何度も練習した。高校生が理解しやすいような言い回しや、ジェスチャーを交え本番に向けて最終調整をした。
5日目	8月25日(土)	本番@明星高校	午前中に社会人を交えたりハーサルを終えた後、午後はいよいよ本番だっかが高校生がまっすぐプレゼンに向き合ってくれ彼らの素直さに感動した。達成感。
6日目	9月5日(水)	本インターン振り返り(高校生のアンケート集計結果等)	実は、前日ゼミ旅行で行っていた大阪から帰宅する予定だったのだが、台風に遭ってしまい次の日まで帰れなくなってしまい、参加できなかった。
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対するの行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)  
 【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】  
 このインターンを通して、私のインターンの「プレゼン力を身に付ける」という目標を達成できたと思う。今まで人前で話すことが苦手で、緊張してしまい、空回りしてしまうことが多かったが、今回の実習で何度もプレゼンの練習を重ねることでどうしたら聞き手に上手く伝えられるかを学ぶと共に、人前で話すことへの耐性がついた。また、社会人の方々のプレゼンに対するフィードバックの際は、やはり初めは言いづらかったが、「同じプログラムを成功させる仲間」として、遠慮なく意見を言うことが大切なのだ学んだ。また、本番のプログラムでは、高校生の純粋さや素直さを実感することができた。私たちが思っているよりも、まっすぐに向き合ってくれて、今までで一番良いプレゼンをすることができ達成感を得ることができた。そして、何より一緒にプログラムを作り上げた社会人の方々のお仕事ストーリー(仕事でぶち当たった困難を乗り越えた時の話)を聞いて、私自身も仕事に対して前向きなイメージを持つことができ、とてもいい勉強になった。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)  
 モチベーションを持つ。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)  
 今までプレゼンを選んできたが、これからは学校の授業でも積極的にプレゼンしていくと共に、これからもプレゼン力を磨いていきたいと思う。また、グループワーク等でも年齢関係なく積極的に意見を出していきたい。

# インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	15071	企業名	NPOじぶん未来クラブ	コース名称	
配属先・実習部署	シゴトのチカラ			実施地	東京都
実施期間	8月4日	～	9月21日	日数・延べ時間	合計 6日間/延べ 43時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

みんなで成長

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月4日(土)	大学生ナビの顔合わせ。進行の練習。	練習を見て、意見を言っていたくと周りからどう見られるのかが直に伝わって、改善しやすい。
2日目	8月6日(月)	社会人が用意したプレゼンを高校生になったつもりで見て、わからないところを素直に指摘する。	申し訳ないと思わず素直に指摘することが大切。わからないと思ったことを言葉にして伝えることは難しいとわかった。
3日目	8月8日(水)	学生ナビのクラスセッションの進行リハーサル。NPOじぶん未来クラブについて知る。(インタビュー)	今の規模になったのには、様々な人たちの協力はもちろん、みんながこうしたいという強い思いがあったからこそできたことなんだと思った。
4日目	8月17日(金)	学生ナビのクラスセッションの進行リハーサル。	何度も通して、クラスのペアの子と意見を言い合って改善や、残りの日数でやるべきことを考えた。2人で考えることで更に一体感を生み出せたと思った。
5日目	8月25日(土)	明星学苑でシゴトのチカラ本番。	周りを巻き込むことが成功すると進行がしやすい、まとまりが生まれると学んだ。ここでも率先して巻き込む努力が必要だったんだ、と思った。
6日目	9月5日(土)	振り返り会	みんなが今まで行ってきたことにちゃんと意見を持って、意見を持ってこれる人たちが集まっているからこのプロジェクトは進化してきたんだな、と思った。
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

DAY2の社会人とのセッションや学生ナビとのリハーサル、明星高校での本番など様々な内容を体験した。その中でどんな内容の時でも、自分の行った行動や周りの行動に対して自分の意見や考えを持つことができるようになった。なんとなく事をこなすのではなく、何ができていないのか、さらに改善するにはどうすればいいのかわかるようになってきた。これは周りもそういう意見をもっていて、意見を表に出す環境が整っていた、正しくオープンな場所だからだと思った。そして、意見を持つだけでなく、その意見を相手に伝えるように言葉にすることを難しさを知ることができた。自分がまたは自分さえ理解できていない、ということを手相に伝えるには、どこが、なぜ、どの程度といったことを自分自身でよく考えて、そのひとつひとつを伝えるのが一番だった。そのわからないと思ったことを、素直に人前で話すことができるようになった。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

担当する高校のカリキュラムを知る。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

大学生活の中で学科の勉強はもちろん、部活やゼミを通して様々なことを経験し学ぶ。その一つ一つでなぜその勉強や行動が必要なのか、を考えるようにしていきたいと思った。今やっていることに素直な意見をもつことにまず取り組んでいきたい。意見を持てるようにするためにも、なんとなくやるのではなく今何をしているのか、という意識も必要だし、周りからの考えを聞くことも大切だとこのインターンを通じて知ったので実践していきたいと思う。自分の意見を相手に伝えることで相手が進歩できる機会が増えるし自分にもプラスになると学んだ。なのでコミュニケーションをとる中で自分の考えや思ったことも、時と場合に応じて言うようにしたいと思う。

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15071	企業名	NPOじぶん未来クラブ	コース名称	
配属先・実習部署				実施地	東京都
実施期間	8月4日	～	9月5日	日数 延べ時間	合計 7 日間/ 延べ 45 時間
キャッチコピー	【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】 伝える事の難しさを体感できた熱い7日間。				
日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと		
1日目	8月4日(土)	他の大学生とのグループワーク	今回の実習についての概要についての説明をされ、それについて他の大学生とグループワークをしました。		
2日目	8月6日(月)	他の大学生、社会人の方々とグループワーク	社会人と25日に行うプレゼンテーションの打ち合わせをし、それについて多くのコミュニケーションを取りました。		
3日目	8月11日(土)	25日のプレゼンテーションの練習①	25日の行うプレゼンテーションの打ち合わせと練習を他の大学生と行い、プレゼンをする事が思った以上に難しい事がわかりました。		
4日目	8月14日(火)	25日のプレゼンテーションの練習②	11日と同様、25日のプレゼンテーションの練習を行いました。11日よりはず少ずつ、プレゼンのスキルは上達しました。		
5日目	8月24日(金)	25日のプレゼンテーションの練習③	25日のプレゼンテーション本番の前の最終チェックを他の大学生と共にを行いました。11日、14日よりプレゼンスキルは上達してきました。		
6日目	8月25日(土)	明星高校にて、高校生の前で社会人の方々とプレゼンテーション本番	社会人の方々と大学生と高校生の前でプレゼンテーションを行いました。高校生の関心を惹きたてるのは思った以上に難しいのだと実感しました。		
7日目	9月5日(水)	他の大学生と25日の本番の反省会	他の参加した大学生と実習の反省会を行いました。グループワークを通じて、自分自身の課題や反省点を浮き彫りにできたのがよかったです。		
8日目	月 日( )				
9日目	月 日( )				
10日目	月 日( )				
【実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。					
実習を通じての成果(400字程度) 【「～ができるようになった」、「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】					
私が今回の実習に参加することを通じて、大きく2つの収穫があったのではないかと感じました。1つ目は、社会人や他の大学生とグループワークを通じて、1つのプレゼンを仕上げていくという経験です。普段接していない社会人や大学生とのグループワークは、いつもより緊張したり、上手く伝える事ができなかったりと決してすべてが上手くいくものではなかったです。しかし、そのような状況に置かれても、自分の考えをしっかりと伝えていき、グループワークに参加していくことにより、よりいいプレゼンを社会人や他の大学生と作り上げていくというのは、とても充実した経験になりました。2つ目は、高校生の前でプレゼンテーションをすることができたという事です。私自身、現在教職課程を履修しており、教員を含めた教育業界の就職を志望しています。そのような志望理由からも、高校生の前でプレゼンテーションをすることは、クラスをとりまとめ、高校生に伝える事がいかに大変かという事を体感することができたのはとてもいい経験でした。以上の2つの経験は、今後の進路選択や学習のための大きな指針となると実習を通じて感じたため、この経験から今後やるべきことを逆算し、今後の自分の課題に取り組んでいきたいと思いました。					
実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)					
グループワークを他の大学生や社会人の方々と多くする機会があります。そのため、自分が伝えたい事を率直にしっかりと伝えられるようにする、他人の話をしっかりと聞くといった訓練をゼミやサークルといった普段の大学生活から慣れておくこととスムーズにいくのではないかと思います。また、高校生の前でプレゼンテーションをするため、その訓練を積むことも重要ではないかと思います。					
今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)					
今回の実習を通じて、日々の大学生活であるゼミなどで行うグループワークを生かすことこそ、社会人としてのコミュニケーション力を上げるための近道なのではないかと感じました。今回の実習で求められた能力は、自分の考えをしっかりと伝えられる事や相手の意見をしっかりと汲み取り、それをもとに一つのプレゼンテーションを社会人や他の大学生と共に仕上げていくというものでした。もちろん、このような能力は、インターンシップに参加したり、実際に社会人にならなければ上達しない部分もあるとは思いますが一方で、大学のゼミのグループワークなどで数多く経験することにより、素地が固められていくのではないとも感じました。そのため、就職活動にありがちなマニュアルを熟知する方向に進むのではなく、他人の意見をしっかりと汲み取り、自分の意見を上手く伝えられるような練習を大学のゼミをはじめとする様々な場面でしっかりと積んでいきたいと思いました。					

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

※手書き不可

企業ID	15091	企業名	東京コミュニティスクール	コース名称	
配属先・実習部署		実施地	東京都		
実施期間	8月27日～9月6日	日数・延べ時間	合計 9 日間/ 延べ 81 時間		

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】  
大人も子供も関係ない「学び」「発見」の連続の9日間

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対する行動・学んだこと
1日目	8月27日(月)	子供たちのサマープロジェクトプレゼンの手伝い	初めに子供たちの前で自己紹介をしました。短い時間でいかに子供たちに興味をもってもらえるか、最初のインパクトが大事だと実感しました。
2日目	8月28日(火)	子供たちが読む「必読100選図書」の分類・シール貼り 授業観察	子供たちに読書に親しんでもらうためのスタッフの方の工夫を自分の目で見る事ができました。工夫次第でより子供たちのためになるのだと分かりました。
3日目	8月29日(水)	readingテストの単語入力 授業観察	データのパソコン入力という単純作業でしたが、初めのうちは操作方法が良く分からず手間取ったので、パソコンスキルを磨かなければと思いました。
4日目	8月30日(木)	アートの授業の手伝い 授業観察	絵具を忘れた子に対するスタッフの方の対応を見て、ただ叱って終わりではなく、じゃあどうすればいいのかというこれからどう生かすかを考えさせることも大切だと知りました。子供と接する際に役立てようと思いました。
5日目	8月31日(金)	創設者の久保さんからの概要説明 授業観察	創設者の方から直接TOSについてお話をいただくことが出来ました。話の際には、ただ聞くのではなく質問も考えながら聞くことが大切だと実感しました。
6日目	9月3日(月)	訪問者のデータ入力 授業観察	かなり膨大な量のデータ入力があったのににもかかわらず、どうにか2人で終わらせようとしたため時間がかかってしまったので、早めにスタッフの方に相談するべきだったと思いました都合の悪いこともしっかり報告することの必要性を学びました
7日目	9月4日(火)	サマープロジェクト模造紙貼り 授業観察	どのように模造紙を貼れば見栄えが良くなるか、他のインターン生と話し合い試行錯誤しながら行いました。自分だけでは思いつかなかったようなアイデアも出てきて、改めて協力することの大切さ・楽しさを学びました。
8日目	9月5日(水)	ビッグ ウエンズディ の付き添い (しながわ水族館)	歩くのが疲れて他の子供たちに遅れをとってしまっていた子がいて、その子にどう対応するか悩みました。甘やかしすぎない適度な距離感も大切だと学びました。
9日目	9月6日(木)	インターンシップ生・スタッフとの意見交換会 授業観察	インターンを通じての学びをプレゼン形式で発表しました。基本的なことではありますが、改めて声の大きさやスピード・アイコンタクトの重要性を自分や他のインターン生のプレゼンを見て実感しました。練習も必要だと痛感しました。
10日目	月 日( )		

【実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対する行動・学んだこと」欄にご記入ください。

**実習を通じての成果(400字程度)**  
【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

まず、第一の目標にしていた、東京コミュニティスクールの教育について知ることができました。公教育とどう違うのか、その違いはどこから生まれてくるのか自分の目で授業を見て知ることができました。そして、難しそうなことやつまらなそうなことをどう楽しく・面白くするかはスタッフの工夫次第であると気づくことができました。また、子供たちと接する際にどのようなことが大切なのか、実際に子供たちと長い時間を過ごし関わることやスタッフの方々からのアドバイス等を通じて学ぶことができました。つかず離れずの適度な距離感を保つためには、とにかくその子供のことを知ることが大切で、そのためには彼らとコミュニケーションをとることが重要になってくると学ぶことができました。自分だけでなく、他の人の客観的な意見も大切だと分かりました。最後に、このインターンを通じて、子供たちやスタッフの方々を観察する力、そして「疑問・発見・もやもや」に気づく力を身に付けることができたように思います。

**実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)**  
東京コミュニティスクールが一体どのような教育を行っているのか、あらかじめホームページやパンフレットを読み、知っておくことが必要だと思いました。また、スタッフの方に聞きたい質問をまとめておくといいと思います。

**今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)**  
今回の実習で、改めて自分の弱みである「主体性・自主性」に気づくことができました。スタッフの方が声を掛けてくださるのを待ってしまったり、発表の際に手を挙げられなかったりと、自分のこの弱みを痛感する機会が多々ありました。今まではつい目を逸らしていましたが、今回のインターンシップを経て、向き合う決意が出来ました。スタッフの方が仰っていたように、失敗したらどうしようと考えてるのではなく、その次どうすればいいか、真面目になりすぎずポジティブに考え、小さなことから少しずつチャレンジしてみようと思います。また、子供たちと関わる仕事に就きたいという思いが出てきたので、自分の視野を広げ、今後の進路選択に役立てていきたいです。

農業  
建設業  
製造業  
電気・ガス・熱供給・水道業  
情報通信業  
運輸業・郵便業  
卸売業・小売業  
金融業・保険業  
不動産業・物品賃貸業  
学術研究・専門・技術サービス業  
飲食サービス業  
宿泊業・観光業・娯楽業  
生活関連サービス業・娯楽業  
教育・学習支援業  
医療福祉  
サービス業  
公務

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15101	企業名	一般社団法人日本ワーキング・ホリデー協会	コース名称	
配属先・実習部署				実施地	
実施期間	8月17日	～	8月21日	日数・延べ時間	合計 5日間/延べ 40時間

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】  
 はじめてのインターンシップ

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対するの行動・学んだこと
1日目	8月17日(金)	説明、アンケートまとめ、国調べ、資料作成	大まかな仕事の概要
2日目	8月18日(土)	イベント参加	ワーキングホリデーとはどういうものか
3日目	8月19日(日)	アンケートまとめ、イベントのブログ作成、スキルアップセミナー参加	伝わりやすいようなブログを書くことの難しさ
4日目	8月20日(月)	国まとめ、電話対応、学校セミナー参加、レポート	仕事のスピード
5日目	8月21日(火)	初心者セミナー参加、電話対応、プレゼンテーション資料作成、プレゼンテーション	自分が理解するだけでなく、どう聞き手に対して伝えるか
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

※実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対するの行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)  
 【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

今回が初めてのインターンシップで、私の目標は働くとはどういうことなのかを知ることだった。実際五日間インターンシップに参加してみて、スーツを着て企業の方たちと接するだけでもこんなに大変なのかと驚いた。しかし、一緒に現場にいて、働いていらしやるところを拝見して、肌で社会人としての責任感や仕事に対する姿勢などを知ることができた。また、今回はレポートやブログなどをまとめる機会をいただけたが、自分の想像よりも時間がかかってしまい、時間が足りなくなり焦ってしまうという悪循環に陥ってしまうことがあった。考えるのに時間をかけすぎてしまったときなどもあったので、取り掛かる前にできるだけ細かく具体的な計画を立て、時間配分も計算し、もう少し時間的にも精神的にも余裕をもってできるようにしたいと思った。また、電話対応でも自信のなさから対処が遅くなってしまうときがあったりしたので、もっと積極的に行動できるようにしたい。何かができるようになったというような成長は少なかったかもしれないが、自分が何が苦手なのか、できないのか、どう改善していけばいいのかなど知ることができたという点において成長できたと思う。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

社会人の方たちと一緒に働くということで、たいしたことのないような細かいことでも自分の行動が正しいといえることなのか自信がなくなることがあったので、敬語やビジネスマナーなどをできるだけ様々なシーンに応じて勉強すること。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

私の性格上たとえ気づいて自分で考えていたとしても、行動に移すのが遅くなってしまったり、ためらってしまったりすることがあるので、学生のうちのほうが失敗しても責任も軽いことから、時間に余裕がある今のうちに、自分の意志で考え、すばやく行動に移せるように意識していきたい。また、普段のレポートなど、どうしてもマイペースにやってしまうがちなのだが、時間制限を作ってその時間内に終わらせるなど、もう少しスピードを上げて効率よく仕事ができるようにしていきたい。

# インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	15101	企業名	一般社団法人日本ワーキングホリデー協会	コース名称	
配属先・実習部署		実施地			
実施期間	8月17日	～	8月21日	日数・延べ時間	合計 5日間/延べ 40時間

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】  
経験してみないと分からない！

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月17日(金)	電話対応、接客、アンケート入力、仕事の説明	自分から動く、周りをよく見る
2日目	8月18日(土)	初心者セミナー参加、受付、電話対応	ワーキングホリデーや、プレゼンについて学んだ
3日目	8月19日(日)	電話対応、アンケートまとめ、ブログ作成、セミナー見学、レポート、国まとめ	電話対応では受け取る側にわかりやすいように名前や用件を聞くなど、スムーズに働ける、対応できるようにする。
4日目	8月20日(月)	電話対応、プレゼン資料作成、	相手の話をよく聞く。話しやすい雰囲気、空間を作る。
5日目	8月21日(火)	プレゼン	プレゼンでは、伝えたいことは絞り、内容を簡潔にする。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

※実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

**実習を通じての成果(400字程度)**  
**【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】**  
 ワーキングホリデーの魅力を知ることができた。最終日の「ワーキングホリデーの魅力」という題のプレゼンをするために数日ではあったがワーキングホリデーについての知識を増やすことができた。また、実際にカウンセリングの仕事はできなかったが、社員の方々の接客態度を見て、動く姿勢を学んだ。お客様の対応の時は常に笑顔であること、しっかり目を見て、よくお話を聞くこと、自然に皆さんされていた。一日中これをするのは当たり前のように難しいと思った。そして、最初と最後のミーティングの時メモを用意されないで、お客様の情報をすらすらといってらしたのも、さすがプロだなと思った。実際にお客様と密にかかわった仕事はできなくて、お茶をお出ししたり、席に案内したりしかできず、ほとんどはパソコンを使った作業で数日間だから接客ができないのは当たり前ではあるけれど、デスクにつきっきりで一日中仕事をする職は私には向いていないと思った。この経験ができただけでもとてもよかったと思う。

**実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)**  
 敬語、謙譲語といった最低限の接客用語は身に付けておくべきだと思った。

**今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)**  
 将来の自分を見据えて、今自分がしたいことを思う存分してみようと思った。実際にやってみないと分からないこともたくさんあって、今回のインターンシップでも参加してみないと、この仕事は自分に合わないんだ、こういう系統の仕事は自分に合わないんだ、ということはわからなかったし、今なら、大学生のうちなら、失敗しても許されるので、社会に出て失敗しないように今たくさん経験を積んでおくべきだと思った。語学はもうそろそろ本気でやりださなければならぬと思っていて、毎日の積み重ねがやはり大事になってくるし、日本でももちろん勉強することはできるけれど、実際の環境で話すこと、学ぶことって、すごく自分にとって刺激になると思うので、私は留学に行きたいし、頑張って自分でアルバイトでためたお金で海外旅行にも行きたいと思っている。今のうちにたくさん経験を積んでおきたい。

農業  
 建設業  
 製造業  
 電気・ガス・熱供給・水道業  
 情報通信業  
 運輸業・郵便業  
 卸売業・小売業  
 金融業・保険業  
 不動産業、物品賃貸業  
 学術研究・専門・技術サービス業  
 飲食サービス業  
 宿泊業、観光業、娯楽業  
 生活関連サービス業、娯楽業  
 教育・学習支援業  
 医療・福祉  
 サービス業  
 公務

**インターンシップ実習体験報告書(1/2)** ※手書き不可

企業ID	15111	企業名	文化放送キャリアパートナーズ	コース名称	
配属先・実習部署				実施地	東京都
実施期間	8月20日	～	8月31日	日数・延べ時間	合計 10 日間/ 延べ 60 時間

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】  
 ビジネスとしての就活を知る

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月20日(月)	研修オリエンテーション、社内案内、ビジネスマナー、会社概要・業界研究レクチャー、コンピテンシー分析	自己紹介では緊張し上手く話せなかったため、準備の大切さを学びました。ビジネスマナーで名刺交換の実践を行いました。
2日目	8月21日(火)	就職情報研究所レクチャー、メディア研修	レクチャーで質問の大切さやオープン・クローズドクエスションについて学びました。就活の歴史を学び毎年変化があることを学びました。
3日目	8月22日(水)	大学訪問同行・取材(帝京大学、多摩大学)	大学によって特色が大きく異なることに気づきました。営業で先方の話に合わせて質問することの重要性を体感しました。
4日目	8月23日(木)	ソラシティカンファレンスセンター訪問、大学訪問同行・取材(東京家政大学)	ソラシティを訪問し、イベントに必要な経費やアクセスの考え方を学びました。営業は社員さんや先方によって雰囲気が変わることに気づきました。
5日目	8月24日(金)	企業訪問レクチャー、企業訪問同行・取材(オークネット)	普段の会話から相手の話を聞くことや多くの趣味に興味を持つことも営業に活かせることに気づきました。採用側の工夫を知ることができました。
6日目	8月27日(月)	企業訪問同行・取材(フィード・ワン、セブンアンドアイフードシステムズ、サッポロビール)	大学や企業が採用に向けてお金をかけて年中動いていらいっしょることを知りました。訪問した企業同士を比較する質問を投げかけることができました。
7日目	8月28日(火)	文化放送訪問、プレゼンテーション準備	企業のニーズをまとめ、ターゲットを絞ることが大切だと分かりました。インターン生同士共通の質問を大学・企業にしたことが効果的だと学びました。
8日目	8月29日(水)	プレゼンテーション準備、読売新聞社訪問	新聞でも就活でも、興味のないことに一度目を向ける重要性を学びました。社員さんに質問し実際のイベント計画のデータや感覚を学びました。
9日目	8月30日(木)	プレゼンテーション準備	イベントのプレゼン準備でチームの意見が分かれましたが、顧客のニーズに立ち返ることでよりよい選択ができることを学びました。
10日目	8月31日(金)	プレゼンテーション準備、プレゼンテーション	就活は学生だけの問題ではないことを学びました。社会人のプレゼンは学生と違いテストではないので、積極的な質問が大切だと学びました。

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

**実習を通じての成果(400字程度)**  
 【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

私にとって初めての実践型インターンシップでしたので、まずは事務的な作業ができるようになりました。ホワイトボードの記入、伝票の記入、印刷などができるようになりました。次に質問の仕方、グループでの作業の進め方、営業の基本となる話の聞き方を学び、営業同行やプレゼンテーション準備で実際に活用できるようになりました。就活の裏側も学びました。歴史や今の現状、企業や大学や今回お世話になったようなコンサル会社の努力を知り、就活はわたしたち学生だけでなく、社会の問題なのだという視点を持つことができようになりました。企業側の視点に立つことができるようになりました。それにより、ビジネスとしての就活という視点を持つことができ、視野を広げることの重要性に気づくことができました。また、プレゼンテーション準備では、今までの小学校からの学びを活かしているという実感を得ました。それにより学問の連動性や大切に改めて気づくことができました。また、社会人としての優秀さは学生としてのそれとはまったく別物であることを知ることができました。学生のようにテストされている感覚ではなく、組織としてどうベストを尽くせるかに重点を置くべきだという考えを得ることができました。

**実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)**  
 最低限のビジネスマナーを身に付けておくこと、Officeの基本操作をできるようにしておくことが必要です

**今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)**  
 就活の裏側を学んだので興味のない企業にも一度目を向けたいです。そして興味のある企業との意外な関係を学んだり、興味が無いことを改めて確認し、就職活動を円滑に進め、ミスマッチ率の低い就活にしたいです。大学訪問で大学の事務室の工夫も知ったので大学の主食キャリアセンターを活用し、就職についての不安を解消したいです。学校の課題でも、興味がなくても意外な場面で知識が必要になることが社会人は多いと思うので、少し我慢して取り組めるようになりたいです。文化放送キャリアパートナーズの皆さんは、誰か相手のためになりたいという気持ちのもとお仕事をされていることを肌で体感したので、何か目的意識をもって学業・サークル・アルバイト・就活を進めたいです。



# インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	15131	企業名	学校法人明治大学	コース名称	
配属先・実習部署				実施地	東京都
実施期間	9月10日	～	9月14日	日数・延べ時間	合計 5日間/延べ 25時間

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月10日(月)	オリエンテーション 就職キャリア支援事務室の取り組み・課題説明・職場訪問 課題解決(グループワーク)・発表	大学職員には、常に変革が求められる業界において、課題の解決と付加価値創造が求められることを知り、課題を解決するためには、目的・効果・実現可能性・ステークホルダーの意識などの多角的な視点が求められることを学びました。
2日目	9月11日(火)	広報課の取り組み・課題説明 課題解決(グループワーク)・発表	大学広報という立場にあつては、大学における様々なPRを行うだけではなく、その業務内容が非常に多岐にわたることを知りました。その中では、ただアイデアを出すのではなくその費用対効果を考える必要があると感じました。
3日目	9月12日(水)	学生支援事務室の取り組み・課題説明 課題解決(グループワーク)・発表 最終発表の課題選択	学生支援部では、学生目線にたったアイデアが求められると感じました。様々な問題点がある中で、できるだけ多くを解決するために1つの課題に1つの解決策ではなく、1つの解決策でできるだけ多くの課題を解決していかなければならないことを学びました。
4日目	9月13日(木)	最終課題(広報戦略)の課題解決	広報戦略の提案の原案のFBをしていただいた際に、アイデアが良くても、そこに具体性や数値などによる根拠がなければただ漠然としたアイデアになってしまうことに気づかされました。話し合いの中でも根拠や実現可能性を勧めし、取り組めるようになりました。
5日目	9月14日(金)	最終発表	最終発表に向けたアイデアを最後の最後まで班で検討し、発表に臨みました。2日間ほどの限られた時間のなかで集めた情報をいかに聞く側に伝えるか、相手方の目線・働く側の目線で検討できたことは良かったと思います。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

**実習を通じての成果(400字程度)**  
 【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

私はこの実習を通して、「学生目線ではなく企業側の立場で考える力」またそれに伴い、大学職員に必要な「企画力」を身につけることができました。課題解決、付加価値創造の力が求められる大学業界においては、企画の提案に際し、多角的な視点でのアイデア出しというものが求められます。実習では企画の提案をする際、職員の方に常に質問できる環境を作っていたおかげで、実際に働いている人に学生目線にない視点からFBをしていただいたので、最初は学生目線だった自分も実習を重ねるにつれて企業側の視点で考えることができるようになりました。実際に働くということは、ただアイデアを出すだけではなく、実際に業務を推進していくことを踏まえる必要があるためそのような目線を養うことができたのは非常にいい経験になったと感じました。

また、実習では5日間で4日間発表を行う機会が設けられていて、そのために各班で話し合うグループワークの時間が設けられていました。効率よく話し合いを進め発表へとつなげていくためには、話し合いの際、各自がしっかりと役割を認識する必要があると感じました。ただアイデアを出し続けていても意味がないので、私はそれをホワイトボードにまとめたり、図を描いて提案することで、話し合いも活発化すると思い、積極的にそのような役割に徹しました。もちろんリーダーシップをとって話し合いを進める立場も必要なのですが、話し合いの状況を見て今自分に何が求められているのかということを考えて取り組めたのは働く立場としての視点が身についた結果ではないかと考えています。

**実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)**

実習では、明治大学が抱えるさまざまな課題に対する解決策を提案しました。この時、事前課題として提示されていた「長期ビジョン」・「中期計画」の内容をしっかりと把握しておくことで、職員の方の説明に対する理解も深まり、よりよい解決策を提案することができたのではないかと思います。

また、実習中、さまざまな部署の方々と話せる機会があるので、あらかじめ自分が質問したいことなどを整理して実習に向かうといいと思います。

最後に、実習で何を学びたいのか、また、そのためにどのような行動をとる必要があるかを考えて臨むと、有意義な実習になると主思います。

**今回の実習を終て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)**

私は、今回の実習で得た力をゼミでの議論の場に活かしたいと考えています。ゼミでは毎週班での議論だけではなく授業内で議論を行い、発言する機会があります。まずはそのような場面において積極的に発言していくことだけでなく、今求められているものは何なのか自分なりにしっかりと考えて取り組んでいきたいです。

また、今回の実習で大学職員の仕事のイメージは大きく変わり、より内面を見ることができました。大学業界という常に変革が求められる場において必要とされる人材になるために、物事を広い視野から柔軟に考えられるようになりたいと考えています。そのために、大学に限らず色々な分野で既存のシステムに対し自分なりの課題を考えたりして、働く立場としての感覚をより磨いていきたいです。

最後に、多くの職員の方がおっしゃっていたように、大学生活のうち、今しかできないことというものに一生懸命に取り組む、自分の強みを見つけ出し、していけるようになりたいと考えています。

農業  
 建設業  
 製造業  
 電気・ガス・熱供給・水道業  
 情報通信業  
 運輸業・郵便業  
 卸売業・小売業  
 金融業・保険業  
 不動産業、物品賃貸業  
 学術研究・専門・技術サービス業  
 宿泊業、飲食サービス業  
 生活関連サービス業、娯楽業  
 教育・学習支援業  
 医療福祉  
 サービス業  
 公務

**インターンシップ実習体験報告書(1/2)** ※書き不可

企業ID	15131	企業名	学校法人明治大学	コース名称	
配属先・実習部署	就職キャリア支援事務室 広報課 学生支援事務室			実施地	東京都
実施期間	9月10日	～	9月14日	日数・延べ時間	合計 5日間/ 延べ 30時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】  
**母校の課題に真っ向から勝負！**

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月10日(月)	大学の役割、大学業界の今後についてを職員の方の説明のもと学びました。午後からは、就職キャリア支援事務室としての課題解決として、「明治大学の就職支援のブランド力を高めるためにどのような取り組みが必要なのか」を考えました。	就職の明治として、就職キャリア支援センターがありますが、利用したことのない学生が多いことも事実として学びました。そのために、少人数のゼミの時間を利用して職員の方が就職についての相談を行う制度の充実を提案しました。
2日目	9月11日(火)	広報課職員の方から広報課の役割についての説明を受けた後、「広報戦略を理解し、今後ブランド価値を高められる「資源・情報」が何かを考え、それをPRする広告の作成」について考えました。	広告として、相手に印象深く残すことを念頭に取り組みました。広告の手段として、動画や新聞など様々な伝え方があることを学ぶとともに、いかに相手に印象付けるかは、まずは広告のターゲット層を絞ることが重要だということ学びました。
3日目	9月12日(水)	学生支援事務室としての役割の説明を受けた後、「駿河台キャンパス10号館部室センターを新たな建物に建て替え、学生ラウンジを設置する場合に、その他に建物内に新設すべき施設・設備」について考えました。	遺失物や課外活動についてサポート以外にも、10号館部室センターの老朽化の問題についても学生支援事務室が取り組みを行っていることを初めて知ることが出来ました。実際に職場を見学させて頂き、理解が深まりました。
4日目	9月13日(木)	上記3つのテーマの中から、最終日の最終プレゼンで扱うテーマを班ごとに選択して、翌日の発表に備えて各班で資料作成などの準備を行いました。15:00からは入社2年目の職員の方々と交流会を行いました。	学生支援事務室の最終発表のテーマを選びました。分かりやすく、具体性をもって発表することを意識して、設計図を使って発表に臨みました。入社2年目の方々との交流会では、大学職員としてのやりがいなどのお話を伺いました。
5日目	9月14日(金)	午前中に最終準備を行い、午後から各班ごとに選んだテーマを発表していきま。発表後には、職員の方からのフィードバックがあり、多くの質問や意見を頂きました。終了後、別室にて職員の方々との懇親会を行いました。	最終発表では、4日間で学んだことをもう一度確認して、明治大学の更なる発展を念頭に発表を行いました。終了後の懇親会では、人事企画課の方々とこれからの大学の在り方などについてお話しすることが出来ました。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

**実習を通じての成果(400字程度)**  
**【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】**

学校法人明治大学でのインターンシップを通じて、相手に自分の考えを分かりやすく、具体的に伝えることを学ぶことが出来ました。今回の実習の最終日に、私のグループは、大学の「学生支援事務室」としての課題である「10号館部室センターの建て替え案」について最終発表を行いました。発表では、新しく建て替えた建物をより分かりやすく伝えるため、外部はもちろんのこと、内部の構造についても詳しく説明したいと思い、立体的な模型を用いた見取り図を使い、具体性を追求して発表しました。最終発表の終了後には、職員の方々ははじめ、友人たちも分かりやすかったという感想を頂きました。このことを通じて、発表においては分かりやすさと具体性が非常に重要であり、そのためには単に言葉のみで伝えるのではなく、立体的な模型図など、多くの人が親しみやすいものを用いて発表することが大切だと感じました。また、今回のインターンシップを通じて、「先を見据えて物事を考える」ということの重要さも学ぶことが出来ました。広報課や就職キャリア支援事務室の課題を考えるうえでも、長い目をもち、単に一時的な効果ではなく、長期的な効果のある考えを持つことが大切であることを学びました。今後の勉強などにおいても、発表する際に分かりやすさと具体性を意識して、長期的な効果のある考えを大切にしていきたいです。

**実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)**

今回のインターンシップでも、事前学習として「学校法人明治大学第2期中期計画」を読むことが課題でした。この計画は、インターンシップ中に考えた上記3つのテーマについての解決策を考えるうえで、大変参考になりました。例えば、10号館部室センターの老朽化についても、第2期中期計画のなかで、優先して取り組むべき課題であることが書かれてあります。実習に参加する前に、第2期中期計画の大枠をしっかりと把握して望むことが大切だと思いました。

**今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)**

今回の実習を通じて、まずは私たちが普段、明治大学のキャンパスで講義を受けることができ、サークル活動などの課外活動を含めて充実した学生生活を送ることができるのは、明治大学で働く職員の方々のサポートがあるからこそなのだと改めて感じることができました。今後の大学生活でも、職員の方々への感謝の気持ちを忘れずに残りの学生生活を送っていきたくです。明治大学でのインターンシップを通じて、与えられた課題に対する解決能力とそれをいかに相手に分かりやすく伝えることは非常に大切であることを学びました。このことを生かして、学校生活におけるゼミ授業では、与えられた課題に対してしっかりと自分の意見を持ち、積極的に考えを提案して、自分なりの解決策へ導くことを意識して臨みたいと思います。また、今回のインターンシップ中に職員の方から、相手の話を聞く際には、話に対する質問を考えながら聞くことで、理解が深まるというアドバイスを頂きました。今後の大学での講義も、常に質問を考えて積極的に臨み、勉学に対する理解もさらに深めていきたいです。

# インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	15131	企業名	学校法人明治大学	コース名称	
配属先・実習部署	就職支援事務局、広報課、学生支援事務局			実施地	東京都
実施期間	9月10日～9月14日			日数・延べ時間	合計 5日間/延べ 32.5時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

大きな1歩

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月10日(月)	「就職の明治」のブランド力を高められるような「新たな支援策」を提案する。	就職キャリアセンターが抱える問題点と明治大学の就職ブランドについて学ぶことができた。
2日目	9月11日(火)	明治大学の広報戦略を理解し、そのうえで今後明治大学ブランド価値を高められる「資源・情報」がなにかを考え、それをPRする広告を制作する。	明治大学の国際力に関してのPR活動が不足していると感じ、他大学を参考に情報を集めた。
3日目	9月12日(水)	老朽化した10号館部室センターの建て替え案。	明治大学駿河台キャンパスにおけるラウンジやショップが不足していたため、それらを含んだ案をだした。
4日目	9月13日(木)	各班に分かれ、これまでの3日間の課題を深掘りしていき、最終日のプレゼンテーション用の資料作り。	見やすいパワーポイントにするために、なるべく文字を少なく、強調すべきところは色を使った。
5日目	9月14日(金)	最終プレゼンテーション	飽きさせないで発表するために、聴き手に質問するなど工夫した。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

### 実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

実習を行う前は、大学職員がどのような仕事をしているのかあまり想像がつかなかったが、実習を通して、職員の仕事は非常に多岐にわたるものだと理解することができた。また、毎日のようにプレゼンテーションをさせていただけだったので、人前で話すことが以前より楽にできるようになった。さらに、プレゼンテーションの資料を製作するにあたって、数字などの客観的な要素を入れ込むことで、説得力が増すと感じた。発表までの作業はとてども一人で完成させられるものではなく、班員全員が協調性を持ち、時に意見の衝突はあっても、円滑に進めていくことが大切だと感じた。また、明治大学職員の方々のお話を伺って、まだ明確ではないが、ぼんやりとした自らのビジネスパーソン像を想像することができた。これらの経験はこれからの就職活動に生きてくるものだと確信している。

### 実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

明治大学に関しての著書や「東洋経済」などの大学全体に関する雑誌を読んでおくのと良いと感じた。また、明治大学のホームページで今まで明治大学行ってきていること、これから取り組もうとしていることを知っておくことが必要だと感じた。

### 今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

今回の実習を通じて、より就活に対しての意識が高くなってきた。これからの大学の就活に関してのガイダンス等に参加することはもちろん、自分でも少しずつ情報を集めていきたい。また、他大学のインターンシップに参加してみるなどして、それぞれのだいがくの特徴が理解できれば良いと考えている。また、私はマーケティングを専攻しているので、4年生まではしっかりと学問の研究もしっかりと行っていきたい。さらに、今回、学校法人明治大学のインターンシップに参加させていただいたことで、より愛校心が増したため、大学主催のイベントには積極的に参加していきたい。3月の情報公開に余裕をもって間に合うように動いていきたい。

農業  
 建設業  
 製造業  
 電気・ガス・熱供給・水道業  
 情報通信業  
 運輸業・郵便業  
 卸売業・小売業  
 金融業・保険業  
 不動産業、物品賃貸業  
 学術研究・専門・技術サービス業  
 飲食サービス業  
 宿泊業、娯楽業  
 生活関連サービス業、娯楽業  
 教育・学習支援業  
 医療・福祉  
 サービス業  
 公務

インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	15131	企業名	学校法人明治大学	コース名称	
配属先・実習部署		実施地	東京都		
実施期間	9月10日～9月14日			日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 35 時間

キャッチコピー **【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】**  
 ”大学職員として働くとは”を知る

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月10日(月)	アイスブレイク、オリエンテーション、就職キャリア支援事務室の取り組み・課題説明・職場訪問・課題解決グループワーク・発表	就職キャリア支援事務室で実際に働いている方から話を伺い、職場訪問をしたことで、職員として働くとはどういうことなのかについての理解が深まった。
2日目	9月11日(火)	広報課の取り組み・課題説明・課題解決グループワーク・発表	広報課の取り組みとして、新聞に出した広告や動画広告の意図を教えていただき、職員の方々がどのような思いで働いているかが分かった。
3日目	9月12日(水)	学生支援事務室の取り組み・課題説明・職場訪問・課題解決グループワーク・発表、最終発表テーマ選択	大学施設が抱える課題という普段考え付かない点を教えていただき、課題解決のためには様々なステークホルダーの立場に立って考えることが大切だと学んだ。
4日目	9月13日(木)	最終選択テーマの課題解決グループワーク、若手職員との交流会	学んだことを活用し、職員としてどう考えるべきかを意識して課題解決に取り組んだ。交流会では年代の近い職員の本音を聞くことができ、自分が働いている姿を想像しやすくなった。
5日目	9月14日(金)	最終選択テーマの課題解決グループワークの仕上げ・発表練習、各班発表、振り返り、まとめ、懇親会	発表に対するフィードバックや、他の班の発表から、職員として働くために今の自分に足りていないものが何かを知ることができた。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

複数のステークホルダーを意識できるようになったことが一番の成果だと考える。大学はたくさんのステークホルダーが存在しており、そのうち1つだけを意識するのではだめだということを知り、そして課題解決グループワークで実践できるよう取り組んだことで複数のステークホルダーを意識することの大切さを学んだ。今までもゼミナール活動などで何かを提案するということは経験してきたが、複数のステークホルダーを意識することができておらず、それができていればもっと良い提案になっていたのではないかと考えた。インターンシップ終了後も、アルバイトなど日常生活でもステークホルダーを意識するようになり、今までよりも視野が広がったように感じる。ステークホルダーを意識する上で、相手の立場になって考える、一見関係ないように思われるステークホルダーにもどんな影響が出るのか考えることの大切さを学ぶことができ、より良い提案ができるよう成長できたのではないかと考える。また、5日間にわたり、常に明治大学のブランド向上について考えたことで、他との差別化の必要性を学ぶことができた。他との差別化は、今後何かをするときにできたら有利になるものであり、どうすれば差別化を図れるかについて考えを深めたことは必ず役に立つと思う。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

どんな提案をするにあたって、大学の方針に沿っているというは大前提であるため、大学の長期ビジョンや中期計画に目を通し、大学の方針を知り、自分なりに気になった部分や何が大切かについてまとめておくグループワークなどがスムーズに行えると思う。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

”若い”アイデア、新規性の高いアイデアといった良質なインプットをするために、良質なアウトプットが必要だと学んだ。そのためには、見聞や視野を広めることが必要であるため、今後の学生生活ではもっとたくさんの人、様々な年代の人と交流したり、新しいことに挑戦したりしたいと考える。また、課題をいかに的確にとらえているかということがよい提案をする上で大切なポイントであると分かったため、課題発見力および課題把握力を今後の学生生活で鍛えていきたいと思う。そのために、自分が取り組むことに「これでよいのか」と自問自答したり、周囲にも目を配ったりして課題を見つけるだけでなく、どうすれば解決できるかについてまで考えていきたい。

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15131	企業名	学校法人明治大学	コース名称	
配属先・実習部署				実施地	東京都
実施期間	9月10日	～	9月14日	日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 31 時間

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】  
**明治大学を世界へ！世界から明治大学へ！**

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月10日(月)	就職キャリア支援事務室について学ぶ 職場訪問・取り組むべき課題についてグループワーク・課題解決案の発表(相談窓口の運営方法改善案)	ネットワークシステムの導入を提案した。 (相談窓口の現況をリアルタイムで把握できるシステム)
2日目	9月11日(火)	広報課について学ぶ 取り組むべき課題についてグループワーク・課題解決案の発表(明治大学のブランド力を高めるための広告作成)	国際化のイメージを強化する広告(動画)を作成した。
3日目	9月12日(水)	学生支援事務室について学ぶ 職場訪問・取り組むべき課題についてグループワーク・課題解決案の発表(老朽化した10号館部室センターの建て替え案)	ラウンジの他に、運動スペース(ジム)・ブックカフェ・緑を感じるスペースを備えた2フロアを提案した。
4日目	9月13日(木)	明日の最終発表に向けた準備(グループワーク) 若手職員の方との交流会	学生支援事務室のグループに所属する。10号館部室センターの建て替え計画について議論し、案を作成した。
5日目	9月14日(金)	最終発表 懇親会	10号館部室センターの建て替え案について、“Field of Communication (語らいの場)”をコンセプトに、緑を配した、各フロア1000人を収容するラウンジを提案した。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。  
**実習を通じての成果(400字程度)**  
 【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

漠然と描いていた大学職員の仕事のイメージが、ディスカッションやグループワークを通して具体的な目標を持ちはっきりとした。大学職員の仕事は、日常業務に加え、大きなビジョンを成し遂げるための企画設計など、広範・多岐に渡っている。その遂行には様々な知識が求められることに気付かされた。  
 具体的に学んだ取り組むべきテーマは以下の通り。  
**【就職キャリア支援事務室】**  
 相談窓口が予約なしにいつでも開かれている点は非常に優れていると考えていたが、一方、待ち時間が長いという問題点について今回議論できた。その解決案として、窓口と学生の双方向システムの構築を提案できた。  
**【広報課】**  
 「教育力・研究力」ブランド、「国際力」ブランドの向上が課題であることが分かった。English CafeやMeiji Global Villageなど、明治大学の国際化に向けた取り組みを広く紹介する動画を作成し、高評価を得ることができた。  
**【学生支援事務室】**  
 駿河台キャンパスにはラウンジが少なく、学生の居場所が限られている。皆が実感している課題ゆえに、非常に具体的に建設的な提案をすることができた。  
 5日間を通じて、職員の方々のきめ細かなご配慮のもとに私たちの安心した学生生活があることに、感謝の念を抱くことができた。改めて、大学で働きたいという意志を強くした。

**実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)**  
 ・インターンシップ実施に先立ち人事部より与えられた「明治大学 長期ビジョン」「明治大学 第2期中期計画」を読み、明治大学の取り組みや課題について理解を深める。  
 ・大学広報紙を読み、大学のこれまでの取り組みや現況について把握する。  
 ・大学経営や海外の大学事情についての書籍を読む。

**今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)**  
 ディスカッションを通じ、理想を追うだけではなく、コストやスケジュール管理の意識を持ち、現実に立脚した施策の実現方法を考えることができた。その中で重要と考えたことは以下の点であり、今後の目標としたい。  
 ・幅広い知識と論理的思考力を養う  
 (今回のディスカッションにおいては、施策を決定するにあたり、法律や不動産といった知識も求められた。自分の考えを相手に説得するためには豊富な知識が必要であり、また自分の考えを分かりやすく伝えるためには論理的な思考力が欠かせない。)  
 ・大学を外側から評価する視点を持つ(世界の中の明治大学としてどうあるべきか、客観的な判断基準を持てるようにする。)  
 ・大学と学生の協働参画事業に積極的に参加し、様々な側面から大学業務への理解を深める  
 (秋学期より、和泉キャンパスにて障がい学生学習支援のノートテイクを行っている。)

農業  
建設業  
製造業  
電気・ガス・熱供給・水道業  
情報通信業  
運輸業・郵便業  
卸売業・小売業  
金融業・保険業  
不動産業、物品賃貸業  
学術研究・専門・技術サービス業  
宿泊業、飲食サービス業  
生活関連サービス業、娯楽業  
教育・学習支援業  
医療・福祉  
サービス業  
公務

インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	15131	企業名	学校法人明治大学	コース名称	
配属先・実習部署	就職キャリア支援事務室、広報課、学生支援事務室			実施地	東京都
実施期間	9月10日	～	9月14日	日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 25 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー 明治大学の職員として働くことを体感する。

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月10日(月)	「就職の明治」のブランド力を高められるような「新たな支援策」を提案する。	ステークホルダーを意識し共感してもらえる支援策を考えていくこと、また、学生が主体的に進路選択できる環境づくりが大切であると学んだ。
2日目	9月11日(火)	明治大学のブランド力を高めるための広告を作る。「何を、誰に、どのように伝えるか」を意識すること。	コストなどの現実性を考えること。また、視野を広く持つことで明治大学ならではの良さを理解することができた。
3日目	9月12日(水)	学生ラウンジを含めた、新たな学生センター建設に向けて、施設・設備を考える。	課外活動施設やラウンジ不足などの課題点を学生と職員両方の視点から見ることができた。
4日目	9月13日(木)	最終選択テーマの中間発表を行い、課題に対する改善点を明確化した。	「ブランド力を高めるための就職支援」という大本の定義から提案がそれてしまった時は、定義付けと根拠となる裏付けをしっかりとるように心掛けた。
5日目	9月14日(金)	午前中は発表準備を行い、午後は就職キャリア支援事務室が行う新たな支援策の提案発表を行った。	ターゲットを誰にするのか絞ること、非現実的な提案でないこと、明治ならではの独自性がある提案にすることを心掛けた。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)  
 【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

今回の実習では多くのグループワークを行うことで以下の4点を学ぶことができた。まず1点目にチームプレーの大切さを学んだ。班員の考えを理解し、企画提案する際、各々の意見が対立する場面もあった。しかし、全員で参考となるデータを集めたり、原点に戻り最重要課題を考え直すことで、各々の意見の方向性をまとめていくことができた。2点目に、何をどうすれば解決したことになるのか、課題解決の定義付けを特に意識して行った。定義付けをしなければどんな提案をしたいのか見失い、意見の方向性にまとまりがなくなる恐れがある。定義付けをしっかりと行うことで企画案の効果を明確化させることができた。3点目に、実現可能性を考えながら企画をすることができた。広報課の場合、広告料などのコストを含めた提案をすることでより現実性のある提案をするよう心掛けた。4点目に、提案をする際、根拠・裏付けをしっかりとつけることができた。特にステークホルダーからの共感を意識し、データを調べることで説得力が増し、根拠を強化することが大切であると学んだ。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)  
 ホームページの大学案内の欄を見る必要がある。特に中期・長期計画ではどのような課題があり、どう解決しようとしているか、どこまで達成しているかなどが書いてあるので、グループワークを行う際に参考になる。また、職員インタビューの記事を見ることで、どんな仕事や役割、部署があるのか参考にすることができた。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)  
 学生生活で改善していきたい点が3点ある。それは、チームで最大の力を発揮すること、分かりやすく伝える能力を高めること、広い視野を持つことである。1点目に、実習を経て同部署だけでなく、他部署との連携も大切だと学んだ。そこでゼミやサークル活動では皆を巻き込むことで、チーム最大の力を発揮したい。2点目に、発表時、自分達で考えられていても相手が理解しやすいよう表現することは難しいと感じた。しかし、定義付けを最初に行い、利点、または欠点に対する改善策を明確にすることで分かりやすく伝える工夫ができた。今後行う研究活動でも、上記のように順序立てて説明することで、分かりやすく伝える能力を高めたい。3点目にステークホルダーを考える際、学生目線で考えることが多かった。これからは、多様な視点を持つことで人と接することができるよう成長していきたい。

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15131	企業名	学校法人明治大学	コース名称	
配属先・実習部署	就職キャリア支援事務室、経営企画部広報課、学生支援事務室			実施地	東京都
実施期間	9月10日	～	9月14日	日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 25 時間

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】  
「働く場所」として明治大学を見つめられる実習

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対するの行動・学んだこと
1日目	9月10日(月)	就職キャリア支援事務室の現在の取り組みと課題について伺い、「就職の明治」のブランド力を高められるような「新たな支援策」を考えました。	企画シートを利用することで、枠組みに従って順序立てて発表できました。就職キャリア支援事務室は就活の相談以外にも多くの仕事があると知りました。
2日目	9月11日(火)	広報課の現在の取り組みと課題について伺い、今後明治大学のブランド価値を高められる「資源・情報」が何かを考え、それをPRする広告を考えました。	広報ブランドブックや今までに出稿したブランド広告を実際に見せていただき、大学にとどまらず「広報の仕事」とはどんなものか学ぶことができました。
3日目	9月12日(水)	学生支援事務室の現在の取り組みと課題について伺い、新たに学生ラウンジを作る際にどんな設備を入れるべきかを考えました。	学生支援事務室はサークルのサポートだけでなく、新たな施設の導入計画を考えるなど大きなやりがいのある仕事もできる部署だと学びました。
4日目	9月13日(木)	説明を受けた3つの部署から1つを選択し、それぞれグループで選択した部署についてさらに深く掘り下げて発表する準備を行いました。	初日に使った企画シートを再度利用し、順序立てて発表の準備を進められました。グループの3人で役割分担をして進められました。
5日目	9月14日(金)	4日目から引き続き準備をして、午後に発表を行いました。発表後、各部署の担当の方からフィードバックをいただきました。	発表では聞いている職員の方に意見を求めたり、動画を見ていただいたりと飽きさせない工夫を実践できたと思います。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対するの行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)  
【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

大学を働く場所として分析・体感できたことが非常に大きかったと思います。就職イベントでの説明会やインターンシップを行っている学校法人は少ない中、大学職員の仕事を研究する機会を得られたためとても有り難かったです。就職キャリア支援事務室では企業の方ともコンタクトを取って学生と企業のマッチングを考えていたり、広報課では新聞社と交渉してブランド力を高めるための広告を打ち出したりといった具体的な仕事についての知識を得ることができました。また、職員の方がプレゼンテーションをしてくださったので、それを見てPowerPointの作り方も学びました。図や写真を挿入することで見やすくしたり、公的なデータを載せることで説得力を持たせるといったことを学び、初日のプレゼンテーションよりも最終日のプレゼンテーションの方が完成度の高いものができたと実感できました。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

初日の一番初めに人事部の方が大学についての基本的な知識について教えてください、実習を行う各部署の方々も自分たちがどんな仕事をしているか初めにプレゼンをしてくださるので、専門的な知識は特に必要ないと思います。事前課題として「明治大学長期ビジョン」と「明治大学中期計画」の一読が課されるので、それが準備になると思います。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

今回の実習では主にグループワークの時間が多かったことや、職員の方に話を聞いたことから、社会に出てからもチームで働く機会が多いのだと感じました。学校ではゼミの活動がチームで活動する機会になるので、そこで意識的に活動したいと思います。また職員さんには主体性を持った方が多いと聞きました。チームで動くにしても何でも受け身では良くないので、自分の意見をしっかり持って臨みたいです。またプレゼンテーションの機会が多いということも感じました。授業でのプレゼンテーションの機会でも練習を積んでいきたいと思っています。

農業  
建設業  
製造業  
電気・ガス・熱供給・水道業  
情報通信業  
運輸業・郵便業  
卸売業・小売業  
金融業・保険業  
不動産業、物品賃貸業  
学術研究・専門・技術サービス業  
飲食サービス業  
宿泊業、観光業、娯楽業  
生活関連サービス業、娯楽業  
教育・学習支援業  
医療・福祉  
サービス業  
公務

**インターンシップ実習体験報告書(1/2)** ※手書き不可

企業ID	15131	企業名	学校法人 明治大学	コース名称	
配属先 実習部署		実施地	東京都		
実施期間	9月10日	～	9月14日	日数・ 延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 25 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】  
**事務だけじゃない！大学職員の仕事を知れる5日間**

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月10日(月)	自己紹介、就職キャリア支援事務室の方からの課題(就職の明治のブランドをより高める案)、グループワーク	明治大学の就職サポート力は他の大学よりも圧倒的に強く、それは職員の方の努力によって可能になっていると実感しました。
2日目	9月11日(火)	広報課の課題(広告案)、グループワーク	大学の広告を作成する際にはステークホルダーへの配慮もしなければならず、単に面白い広告を作るだけではいけないと学ぶことができました。
3日目	9月12日(水)	学生支援事務室からの課題(学生ラウンジのデザイン案)、グループワーク	駿河台キャンパスには学生同士が語り合えるラウンジの存在が少なく知りませんでした。より魅力的な大学にするためには学生のための施設も重要であると実感しました。
4日目	9月13日(木)	最終発表に向けたグループワーク。人事の方への中間発表とフィードバック。1～3年目の若手社員の方との懇談会。	中間発表では人事の方からの講評を受けて、自分たちの詰めの甘さを認識しました。最終発表に向けて何が足りないのかをグループ内で議論し合うことができました。
5日目	9月14日(金)	最終発表。講評。懇談会。	最終的に「就職の明治」のブランド力を高めるための提案をしました。5日間の総まとめとして、明治大学の強みを生かした提案ができたと思います。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

※実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

**実習を通じての成果(400字程度)**  
 【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

この5日間のインターンシップを通して、私は仕事のやりがいの大切さというものを学ぶことができました。インターンシップに参加する前は、仕事をするとということに対して漠然と大変という印象を持っていました。仕事のやりがいというものがあるのかについても明確には理解していませんでした。しかし実習中に職員の方のお話や課題解決のグループワークをしているうちに、明治大学の職員は明治大学のブランドを向上させるために仕事ができる楽しさと大変さがあると感じました。この楽しさと大変さこそが仕事のやりがいであることを実感しました。このやりがいというものがある根底にあれば、たとえ仕事が大変でも最後までやり遂げようと思えるモチベーションになると思います。そのため、私はこれからの就活においてやりがいということを意識して業種や企業選びを進めていこうと思うようになりました。

**実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)**

事前の課題でも連絡されましたが、明治大学の中長期計画に目を通すことが大事だと思います。明治大学が現在抱えている課題について知り、具体的にどのような策を講じていこうとしているのかを知ることができます。

**今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)**

今回の実習では、私にはグループワークの際に議論をより建設的に話を進めるための努力が必要であると感じました。なぜなら私はグループ内で議論をしている際に、誰かが提示した考えやアイデアに対して否定的になってしまうことが多々ありました。もちろんすべてが良いと言うイエスマンになってしまうのはよくないですが、他の人の意見を尊重して議論に生かすのは大切なことであると思います。そのため、これからの学校生活では日ごろからゼミやサークルで議論やグループワークをする際に練習をしていきたいと思っています。具体的には他人の意見を尊重するたために、まずは肯定から入るという意識をもって議論をしていこうと考えました。



農業  
建設業  
製造業  
電気・ガス・熱気・水道業  
情報通信業  
運輸業・郵便業  
卸売業・小売業  
金融業・保険業  
不動産業、物品賃貸業  
学術研究・専門・技術サービス業  
飲食サービス業  
生活関連サービス業  
娯楽業  
教育・学習支援業  
医療・福祉  
サービス業  
公務

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15131	企業名	学校法人明治大学	コース名称	
配属先・実習部署				実施地	東京都
実施期間	9月10日	～	9月14日	日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 27.5 時間

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】  
大学職員の仕事の本質を体験しながら学ぶ

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月10日(月)	大学を取り巻く環境・明治大学についての説明の後、就職キャリア支援事務室についての説明があり、グループワークを行なった。課題は、「明治大学の就職支援のブランド力を高められるような新たな支援策を提案する」。	1回目のグループワークということで、意見を出しやすい雰囲気を作るため、グループのメンバーと積極的にコミュニケーションをとりました。ワークではリーダーだったので、メンバーの意見を発表に反映できるよう自分の意見を入れつつまとめ役に徹しました。
2日目	9月11日(月)	広報課の取り組みについての説明の後、グループワークを行なった。課題は「明治大学のブランド力を高める広告の提案」。	職員の方から、提案を行う際はテーマを意識することが大切といったご指摘をいただいたので、テーマから脱線しないよう意識しながら課題解決の提案を行ないました。
3日目	9月12日(月)	学生支援事務室の取り組みについての説明の後、グループワークを行なった。課題は「10号棟部室センター建て替え案の提案」。	今までとは少し異なる自分たちの発想力が求められる課題だったので、意見を出すのに少し苦戦しました。どのように発表したら相手にイメージが伝わるか意識しながらワークを行ないました。
4日目	9月13日(月)	3つの部署から最終テーマを選択し、最終日のプレゼンに向けて選択した部署の課題解決について1日かけてグループワークを行なった。ワーク後は若手職員の方との交流会。	最終テーマとして就職キャリア支援事務室を選択しました。最終プレゼンのテーマなので、職員の方に改めて質問をして課題への理解を深め、メンバーで意見を出し合い発表の方向性を決定しました。
5日目	9月14日(月)	午前中はプレゼンの最終準備、午後にはプレゼン発表を行なった。発表に対するフィードバックと講評をいただき、まとめを行なった後懇親会が開かれた。	午前中は発表内容を詰めました。その際、発表内容を客観的に見ることで、発表に使用するスライドの順序や入れた方がよい内容の提案といったように全体の流れの調整役を担いました。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)  
【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

5日間のインターンシップを通じて、プレゼンテーション能力の向上や、チームでの協力の大切さを学ぶことができました。各部署の方がお越しになって部署の説明・課題提示をしてくださり、グループで部署が抱える課題を解決することを中心に行なったため、5日間で4つのプレゼンテーションをこなしました。初日は、グループで浮かんだアイデアをただまとめて発表することしかできませんでしたが、職員の方から、実現可能性や外部の状況、長期ビジョンや長期計画に沿った提案かどうか等、多角的な視点から考えることが重要、また良いアウトプットのためには良いインプットが必要といったアドバイスをいただき、2日目以降のグループワークでは配布された資料を熟読し、パソコン等を用いてデータ収集を行ったりコスト面を考慮したりなど、課題に対してより具体的な提案ができるようになっていったように感じます。実習を行う中で、当初は思いつかなかったような提案を最終プレゼンでは発表することができ、チームで考えるやりがいと達成感を得ることができました。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

事前にメールで学校法人明治大学の長期ビジョンや中期計画を送付して下さったので、実習前に目を通していくと良いと思います。また、実習内容が実際に大学が抱える課題に対する提案を行うといったものなので、明治大学はもちろん他の大学はどのようなことに力を入れて取り組みを行っているのか日頃から関心を持つことが大切だと思います。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

今回の実習を通じ、実習前から就職先として漠然と選択肢にあった大学職員への仕事への理解が深まると同時に、大学職員の中でも明治大学の職員として働きたいという想いが強くなりました。実習のまとめのお話で伺った、大学職員のみならず企業でも働く上でも重要な能力である行動力・思考力・チームで働く力を今後養って将来へつなげるために、学校生活では3つ全ての力が必要となるゼミナールの活動に力を入れていきたいと考えています。また、今回明治大学が行なっている様々な取り組みや、職員の方の多様な仕事に触れることができたので、今後学校生活を進める上で大学がどのようなことを行なっているのか、動きに関心を持って過ごしていきたいと思っています。

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	15131	企業名	学校法人明治大学	コース名称	
配属先・実習部署	就職キャリア支援事務室、広報課、学生支援事務室			実施地	東京都
実施期間	9月10日	～	9月14日	日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 26 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー 明治大学がもっと好きになる 明大職員体験

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月10日(月)	自己紹介等アイスブレイク・オリエンテーション(インターンシップ概要説明、長期ビジョン、大学組織説明)・就職キャリア支援事務室の取り組みを学び職場訪問・グループワークは「就職の明治」のブランド力を高めるための「新たな支援策」を考え発表。	ステークホルダーは学生だけではなく企業や地域社会等幅広いことを学んだ。「就職の明治」としてのブランド力向上が求められる。グループワークでは、効率よく進められるよう具体的な案を出し合い目的や戦略を具体化しながら役割分担し、発表のための作成に取り組んだ。
2日目	9月11日(火)	経営企画部広報課の業務について学び、大学ブランドの向上のための戦略や取り組み、課題を学んだ。それを踏まえ、グループワークでは、明治大学のブランド力を高めるための広告デザイン案を作成。何をどのように伝え、ターゲットは誰なのか、またコスト面も意識し提案を考える。	選ばれる大学になるためには他大学との差別化をアピールする必要がある。また首都圏入学者が7割を占めているため地方の受験生を呼び込める広告活動が必要でありそこに注目し作成した。その際、紙媒体からWebに飛んでもらいにくいという課題があることを学んだ。
3日目	9月12日(水)	学生支援事務室の業務内容や駿河台キャンパス用地の歴史背景を学び、サークルの部室不足、リパティタワー内のラウンジ不足、等現在に至る課題を解決するために、老朽化した10号館を壊し新たな学生センター(学生ラウンジ、新施設や設備)の提案を発表。	既存の新しい建物に大きな変化を加えず、また固定資産税の問題や売店等の長期休み期間の営業障壁等、考慮すべき点が多い課題だった。学生目線で不便だと感じることへの改善と最先端・グローバルな施設による大学イメージのアップを念頭に置きアイデアを出した。
4日目	9月13日(木)	最終選択テーマである学生支援事務室の課題解決の発表に向けたグループワークを行った。企画シート完成後、職員方からフィードバックを頂き改善しながら発表準備に取り組んだ。若手職員の方との交流会。	現状・ステークホルダー・中長期計画等の環境分析を行い、また他大学の成功例や数字を用いた根拠付けより実現性の高い発表となるよう作業に取り組んだ。交流会では教務事務室や国際教育事務室の内容やキャンパスごとの職場の雰囲気の違い等も知ることができた。
5日目	9月14日(金)	PPT仕上げ、発表の練習。各班20分の発表と質疑応答を行った。発表の振り返り、大学職員の仕事とは等インターンシップ全体の振り返りを行った。	課題の内容が言葉や簡単な図だけではイメージが付きにくいので、写真や具体的な設計図を用いて視覚的にわかりやすいPPT発表となるよう工夫した。また動画を用いることで本格的な提案作りを目指した。
6日目	月 日( )		
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

明治大学が抱える課題を職員になった気持ちで実際に解決案を考えることで、業務内容を学ぶだけではなく、大学で「働く」という具体的なイメージが持てるようになった。「学生を支援するやりがいのある職場」であるだけではなく、明治大学の魅力を発信・ブランドイメージのアップのための取り組み・学生生活環境の整備等など、「自分の考えたことが形となり明治大学ブランドの向上に携われる」という新たなやりがい・楽しさを知ることができた。またグループワークにより積極性、計画的な進行力、提案力が向上した。プレゼンをほぼ毎日経験できたので、プレゼンの仕方や考え等、他のインターンシップの良い部分を吸収し、次第に人前で発表することにも慣れ自信をもって、最終発表をできた。最終発表は仕事の幅の広さを感じ一番関心を持った学生支援事務室の新しい部室棟の提案にあたり今まで作ったことのない設計図に挑戦し、立体的な設計動画を完成させた。具体的な内容、ニーズ、根拠、コスト等を踏まえた現実性のある提案をするための調査・分析する力も身についた。5日間という短い期間なので一部ではあるがインターンシップ前から興味があった大学広報の仕事や学生支援事務室の取り組み等、職員の仕事についての理解が深まった。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

大学業界の現状や学校法人明治大学としての課題、今後の取り組みをするために、学校法人明治大学長期ビジョンと第2期中期計画を読んだ。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

明治大学職員を目指すために、大学生活を学生側として過ごすだけではなく、大学側の取り組みにも目を向けていきたい。明治大学ならではの良さや課題を理解するには、他大学のことも知る必要があるため、長中期計画等にも目を通し、企業研究業界研究を進めたい。今後就職活動に向け、就キャリアイベントやOBOG会など「就職に明治」と呼ばれるよう手厚いサポートにたくさん参加し情報収集をしていきたいと思う。今回得た力をゼミやインターンでさらに培っていきたい。また大学生活の中で学園祭は残り2回しかないため、今後も実行委員の活動に力をいれて大学を盛り上げたい。

インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	15141	企業名	公益財団法人よこはまユース	コース名称	
配属先 ・実習部署	青少年交流・活動支援スペース			実施地	神奈川県
実施期間	9月11日	～	9月19日	日数・ 延べ時間	合計 6 日間/ 延べ 37 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

青少年との、信頼関係が築かれる瞬間に出会える

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月 11日(火)	オリエンテーリングで、施設の目的や職員の業務内容を学びました。非常勤職員を交えた定例会議に出席した後は、施設の受付業務を教えてくださいました。	定例会議内の事例研究で意見を求められました。正解があるものではないと勇気づけていただき、堂々と自分の考えを語る事が出来ました。
2日目	9月 12日(水)	横浜総合高校を訪問し、総合の時間のワークショップに参加しました。ワークショップは1日に3回実施されました。合間の時間によこそカフェで生徒と交流しました。	カフェでは積極的に生徒に関わっていく姿勢が求められました。簡単に答えられる質問を多くすることで、良い会話のテンポを作れることが分かりました。生徒の友達と交流してきた際は、素早く自己紹介をして信頼関係の構築に努めました。
3日目	9月 15日(土)	施設内に陳列されているチラシの整理をしました。また、青少年育成団体の方々と交流しました。青少年の社会参加の場を提供するプログラムを体験しました。	受け入れてくださった育成団体は、おはじきサッカー協会です。実際におはじきサッカーをプレイし、熱中できることや人と対戦できることの喜びを再認識しました。
4日目	9月 16日(日)	マチピカという町清掃ボランティアの運営に携わらせていただきました。初対面の青少年たちのためのアイスブレイクから、町中での引率まで担当しました。	ボランティアの方々には様々な動機があり、会話するだけで刺激になりました。ボランティアを始めるのに勇気が要ったという意見もあり、気軽に参加できて他者とのつながりも持てる機会が必要だと感じました。
5日目	9月 18日(火)	かもん未来塾という、よこはまユースが運営する小中学生のための寄り添い型支援事業の現場に行きました。子どもと触れ合えた時間は短めでしたが、ボランティアの大学生から話を聞くことができました。	施設が一軒家であることが功を奏し、まさに第二の家という印象でした。インターネット環境が整っていることは、これからの時代を考えると仕事面でも生活面でも大きくプラスになると思われます。
6日目	9月 19日(水)	横浜総合高校に2週連続で訪れました。大学生スタッフもワークショップの参加者も、第1回の反省を踏まえて上手くやろうという姿勢が見受けられました。	先週はできずじまいだったことに挑戦しました。カフェに一人で来ている生徒に話しかけて、趣味や将来のことについて和やかな雰囲気でお話できました。
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

事前の認識と現場での体験との間にかなり隔たりがあったために、コミュニケーション能力において期待以上の成果が挙げられたのではないかと感じられます。

青少年支援の事業を行う法人ということだったので、インターンシップでは事務的な手続きやポスターの作製、事業企画などを体験させてもらえるものだと予想していました。青少年と直接関わる頻度については、それらの作業の過程でまれにある程度だと考えていたのですが、実際は大きく異なりました。施設の事務室と青少年が利用できるフリースペースとの距離が非常に近く、職員と青少年とが会話しない間は一時もないぐらい、両者の強い関係性が構築されつつある場となっていました。そのため、施設の利用者に、訪問先の高校生に、塾の生徒に自ら話しかけることを求められました。初日は話しかけ方が分からずに苦痛とも思える時間を延々と過ごしていましたが、2日目の高校訪問で様々な気づきを得ることができました。2日目で感じた力不足の点を職員の方に相談し、いくつかのアドバイスをもらいながら残りの実習に励みました。

最終日には、カードゲームで遊ぶ男の子たちの輪に入ることや、フリースペースの端でひとりでご飯を食べていた高校生に話しかけて受け入れてもらえるようになりました。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

特に必要はありませんが、法人が展開している事業や施設の目的を把握しておく、現場の状況理解に役立つと思います。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

大きく分けて、2つの目標を設定することができました。まずは、密なコミュニケーションが必要とされる場で役に立てて行こうと思います。来年には社会調査実習を履修したいと考えているので、インタビュー調査などにおける被調査者との信頼関係づくり今回の経験を活かすことができるはずです。調査段階だけでなく、グループワークや発表準備のためのコミュニケーションにおいても役立てられるように心がけたいです。

2つ目は、今回の実習で学んだことを、公務員の仕事内容を理解する上での助けとして活用していきたいです。公務員志望の身としては、インターンシップを希望した時点で法人から行政への視点で物事を見てみたかったのです。実習期間中にインターンシップ担当者が法人の説明をするために区役所に出かけており、行政と法人との関わり合いが少なからずあることが判明しました。実習中に聞いた話を念頭に置きつつ、今度は行政から見た法人をテーマに青少年支援について思案できるようになりたいです。

インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	15141	企業名	公益財団法人よこはまユース	コース名称	
配属先 実習部署	青少年交流・活動支援スペース(さくらリビング)			実施地	神奈川県
実施期間	9月11日	～	9月19日	日数・ 延べ時間	合計 6 日間/ 延べ 41 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

さくらリビング出張隊～新人調査員篇～

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月11日(火)	オリエンテーション、青少年施設及び居場所施設についての取り組みの理解 会議の見学、参加	まずは施設についての理解を深めるために、位置の把握や利用者への質問、交流をしました。会議では、青少年のことを第一に考えるからこそ快適な空間、施設外での取り組みに繋がっているのだと考えさせられ、貴重な時間を過ごすことができました。
2日目	9月12日(水)	青少年の居場所推進事業(横浜総合高校でのワークショップ及びようこそカフェのお手伝い)	実際に高校に赴き、高校生と交流しました。ワークショップでは高校生に有意義な時間を与えられるかどうか不安でしたが、楽しく過ごすことができたようで安心しました。相手の気持ちに寄り添い、声掛けをしていくことが重要であると学ぶことができ、次回に繋げたいです。
3日目	9月15日(土)	施設周辺の地域理解。青少年の居場所推進事業(ロビーワーク、イベント運営) 青少年育成団体への参加	受付では部屋の貸し借りを中心に取り組みました。土日は利用者も多くなるため円滑に進むように動くことが重要だと感じました。青少年育成団体(おはじきサッカー)へ参加し、参加する青少年の側に立つて実際に体験させてもらい、多くの人に広めることが必要だと考えました。
4日目	9月16日(日)	施設周辺の地域理解。街角清掃ボランティア「マチピカ」への参加、引率、進行	マチピカではアイスブレイクの内容から進行までを任せられたため、参加者に楽しみながら経験してもらおうと企画を練り行動することができました。普段通らない道は後がいっぱいなるほどごみで溢れており、他人事ではなく一市民として考え、意識しなければと感じました。
5日目	9月18日(火)	寄り添い型学習支援(かもん未来塾)への参加	かもん未来塾に場所を移し、小学生と短い時間でしたが交流しました。自分の周りの環境とは違う環境の子ども達がたくさんおり、そのための活動、団体、施設が行政と連携しながら日々躍進しているのだと知り、関心を持つと共に自分に何かできないかと考えさせられました。
6日目	9月19日(水)	青少年の居場所推進事業(横浜総合高校でのワークショップ及びようこそカフェのお手伝い)	二回目の高校でのワークショップでしたが自分が着飾らず自然に話すことを心掛けたため前回の反省を活かすことができました。また以前より多くの学生とお話ができたので、この実習期間に少しでも自分が成長できたような気がします。また参加したいと考えています。
7日目	月 日( )		
8日目	月 日( )		
9日目	月 日( )		
10日目	月 日( )		

「実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

私は自分よりも下の子と普段話したり遊んだりという交流をすることがないため、苦手意識を持っていました。それは下の子に限らず、初めて会った人と交流したり、ましてや自分が中心になって場を回すことは滅多にありません。しかし、今回の実習では、ロビーワークで小中高生、ワークショップでは高校生と交流し、楽しんでもらうにはどのように話しかけたらよいか、心を少しでも開いてもらえるか等コミュニケーションをとる以上のことを求められました。実際にできたかという点、まずは自分が心を開いて気軽に話すということを中心とした結果、想像以上に短い時間の中で打ち解けることができました。そして今までよりも人とのコミュニケーションが重要であるということを考えさせられました。また、今回外部のボランティア、施設の活動に参加させていただきましたが、青少年たちのための居場所をつくり維持していくこととする姿を現場で目の当たりにしました。私にとっては、青少年のために活動している場所とは、市役所や区役所での子ども青年局、子ども青少年課などしか思い当たりませんでした。しかし実際には、他にも学習を支援する場所、生活支援をする場所、子ども達が気楽に通える「家」のような居場所等本当に多くの場所があり、そのために多くの人が連携し、日々躍進しているのだと分かりました。そのような場所を運営するお手伝いできたことは貴重な経験となりました。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

事前準備としては、年下の青少年たちとたくさん接するという心構えが必要だと思います。それは、私自身がこのように多くの青少年と一緒に遊んだり、話したりすると想像していなかったからです。施設や他との連携、活動については担当者の方が丁寧に説明して下さい、知識を補い深めていくことができます。私は地元の地域にも同じ目的の施設があるため、共通点や相違点を見つけるなど身近な所や興味があることを事前に知識として入れていたため、より濃い実習の時間を過ごすことができました。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

将来のことについて、地域のために仕事に就きたいと漠然と考えていましたが、「青少年を守る」という活動に今回携わっていただいたため興味を持ちました。今まではボランティアについて、就職のために何かしなければと思いつつもなかなか実行に移すことができていませんでした。しかし今回、困窮家庭の子や虐待を受けている子などを受け入れ、居場所を提供する活動を知ることができ、今回実際に参加したことをきっかけに、今後子どもに関わるボランティアに参加していきたいと考えています。また、「青少年を守る」ために市役所の職員になりたい、というように具体的な目標、やりたいことが見つかる良い機会となりました。その目標に向かって本格的に勉強を始めるとともに、今回のように視野を広げられるような活動をしていきたいです。